

令和6（2024）年度

栃木県政世論調査

調査結果（速報）

令和6（2024）年10月

栃 木 県

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の詳細	2
1	暮らしの変化について	
(1)	暮らしの変化	2
(2)	暮らしが悪くなった理由	3
(3)	暮らしの満足度	4
(4)	今後の暮らしの状況	5
(5)	今後の暮らしで力を入れる点	6
2	県政への要望について	
(1)	県政への要望	7
3	日常生活について	
(1)	文化・芸術活動について	10
(2)	スポーツ活動について	11
(3)	住んでいる地域について	12
(4)	社会貢献活動について	13
4	地域のつながりについて	
(1)	ご近所との関係	14
(2)	家族・親族以外で相談できるところ	15
5	防災対策について	
(1)	避難情報（5段階の警戒レベル）の認知度	16
(2)	災害に対する備え	17
6	栃木県への愛着と誇りについて	
(1)	栃木県に対する愛着	18
(2)	栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの	19
7	男女平等意識について	
(1)	社会全体の中での男女の地位の平等感	21
(2)	固定的な性別役割分担意識	22
(3)	働く場での男女の地位の平等感	23
8	生涯学習について	
(1)	最近1年間に行った生涯学習の種類	24
(2)	生涯学習を行った理由	25

目次

9 消費生活に関する意識について

- (1) 消費行動を行う際に配慮していること 26
- (2) 高齢者の悪質商法被害への有効な対策 27

10 県民の人権意識について

- (1) 基本的な人権の尊重 28
- (2) 関心のある人権課題 29

11 ケアラーについて

- (1) ケアラーという言葉の認知度 30
- (2) ケアラー当事者になる可能性 31

12 食に関する意識と実践について

- (1) 産地や生産者を意識して食品等を選ぶか 32
- (2) 農業体験をした経験 33

13 食の安全・安心について

- (1) 食品の安全性に対する不安 34
- (2) 食品の安全性について不安に思うもの 35

14 食品ロスの削減について

- (1) 食品ロスの認知度 36
- (2) 取り組んでいる食品ロスを発生させない取組 37

15 公共交通について

- (1) 公共交通の利用状況 38
- (2) 公共交通に関する満足度 39
- (3) 公共交通に不満を感じる事 40

16 とちぎの元気な森づくり県民税について

- (1) 重要だと思ふ森林の持つ働き 41
- (2) 県民税事業の取組の重要性 42

17 犯罪と治安対策について

- (1) 県内の治安状況の変化 43
- (2) 不安を感じる犯罪 44
- (3) 交通事故抑止対策 45

I 調査の概要

1 調査目的

この調査は、現在あるいは今後解決すべき課題について、県民の県政に対する意識・要望などを的確に把握し、県政施策の企画・立案及び県政執行上の参考とすることを目的とする。

2 調査項目

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| (1) 暮らしの変化について* | (10) 県民の人権意識について |
| (2) 県政への要望について* | (11) ケアラーについて |
| (3) 日常生活について* | (12) 食に関する意識と実践について |
| (4) 地域のつながりについて | (13) 食の安全・安心について |
| (5) 防災対策について | (14) 食品ロスの削減について |
| (6) 栃木県への愛着と誇りにについて | (15) 公共交通について※ |
| (7) 男女平等意識について | (16) とちぎの元気な森づくり県民税について |
| (8) 生涯学習について | (17) 犯罪と治安対策について |
| (9) 消費生活に関する意識について | (※印は時系列調査、※印は新規調査) |

3 調査設計

- | | |
|----------|-------------------------------|
| (1) 調査地域 | 栃木県全域 |
| (2) 調査対象 | 満18歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 2,000 |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送法（郵送配布－郵送回収又はインターネット回収の選択式） |
| (6) 調査時期 | 令和6（2024）年6月19日～7月16日 |

4 調査機関

株式会社東京商工リサーチ 宇都宮支店

5 回収結果

回収数（率） 1,271（63.6%）

6 調査結果の見方

- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100.0%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100.0%を上回ることがある。
- (4) (平成29年度からは)18歳以上の方を調査対象に実施しているが、回答者数が少ないため年齢別分析の説明ではふれていない。

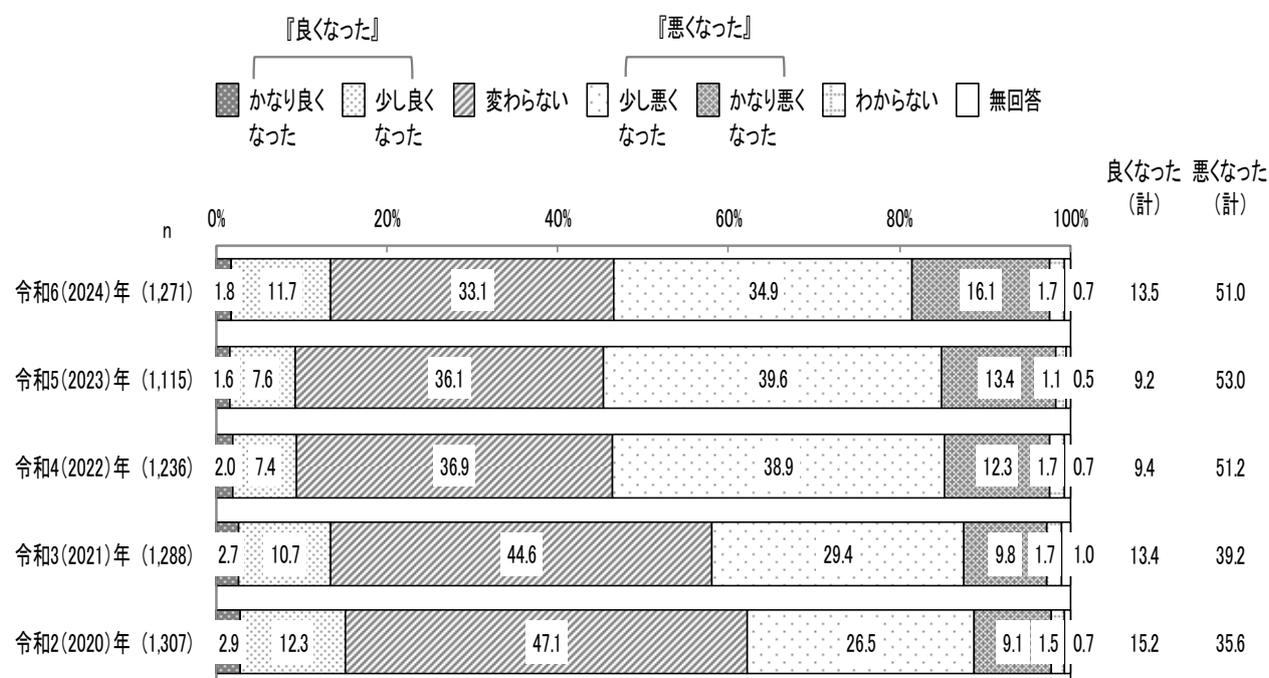
II 調査結果の詳細

1 暮らしの変化について

(1) 暮らしの変化

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1, 271]

項目	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	R5との差
『良くなった』	9.2%	13.5%	4.3 (増)
『悪くなった』	53.0%	51.0%	2.0 (減)



【性別】

- ・『良くなった』・・・男性 (13.8%)、女性 (13.7%)
- ・『悪くなった』・・・男性 (50.7%)、女性 (51.1%)

【性／年齢別】

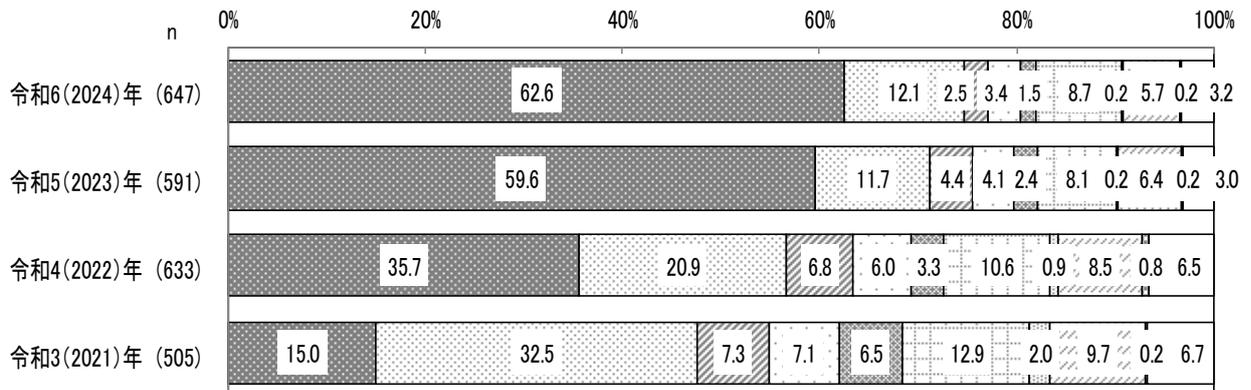
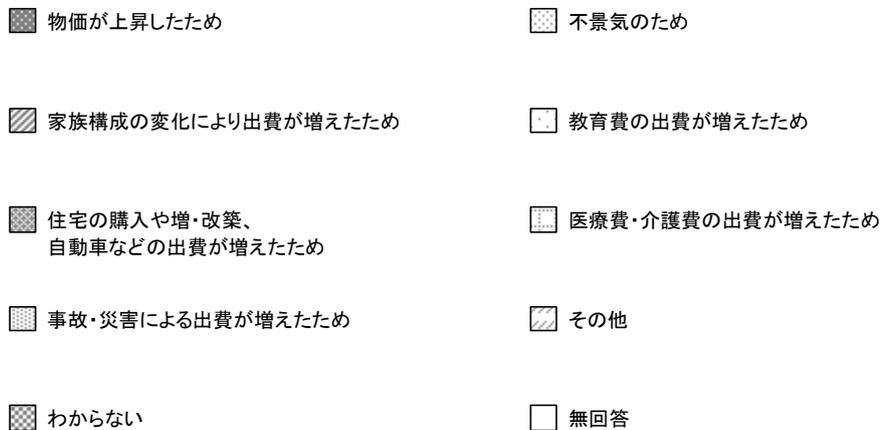
- ・『良くなった』・・・男性20歳代 (34.9%) が最も高く、女性65～69歳 (3.2%) が最も低い。
- ・『悪くなった』・・・女性 60～64 歳 (70.6%) が最も高く、男性 20 歳代 (27.9%) が最も低い。

(2) 暮らしが悪くなった理由

(問1で選択肢「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

問2 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。 [n=647]

項目	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	R5との差
物価が上昇したため	59.6%	62.6%	3.0 (増)
不景気のため	11.7%	12.1%	0.4 (増)
医療費・介護費の出費が増えたため	8.1%	8.7%	0.6 (増)



【性別】

・不景気のため・・・男性 (14.2%)、女性 (10.1%)、男女差 (4.1ポイント) と最も差が大きい。

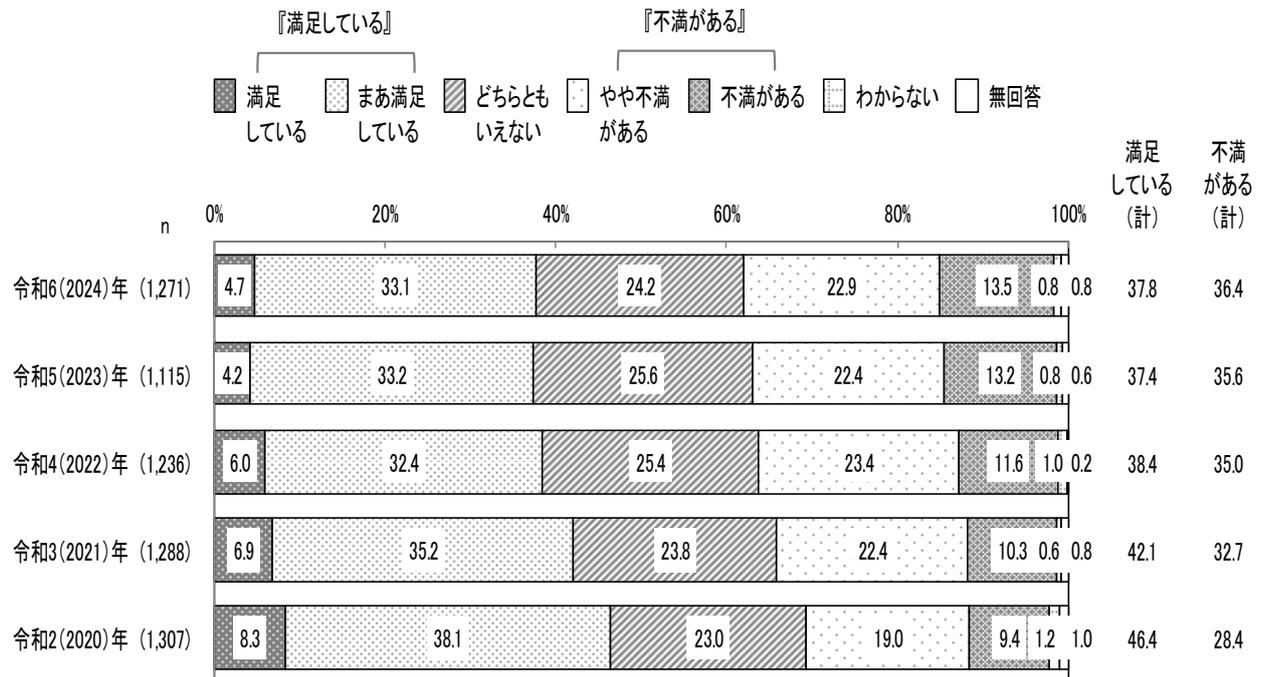
【性／年齢別】

・物価が上昇したため・・・男性70歳以上 (71.8%)、女性70歳以上 (71.1%) と他の年齢に比べて高い。

(3) 暮らしの満足度

問3 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。
[n = 1,271]

項目	令和5（2023）年	令和6（2024）年	R5との差
『満足している』	37.4%	37.8%	0.4（増）
『不満がある』	35.6%	36.4%	0.8（増）



【性別】

- ・『満足している』・・・男性（37.5%）、女性（39.2%）
- ・『不満がある』・・・男性（36.0%）、女性（36.0%）

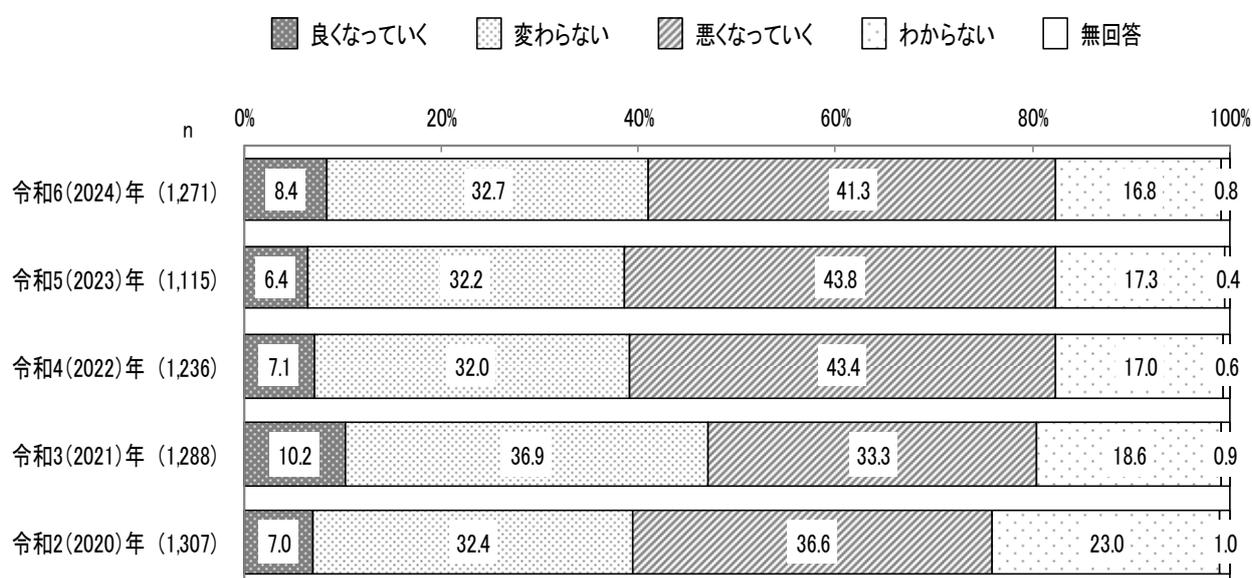
【性／年齢別】

- ・『満足している』・・・女性20歳代（57.5%）が最も高く、男性40歳代（29.0%）が最も低い。
- ・『不満がある』・・・女性30歳代（48.0%）が最も高く、女性20歳代（21.3%）が最も低い。

(4) 今後の暮らしの状況

問4 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。
[n = 1,271]

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
良くなっていく	6.4%	8.4%	2.0(増)
変わらない	32.2%	32.7%	0.5(増)
悪くなっていく	43.8%	41.3%	2.5(減)



【性別】

- ・良くなっていく・・・男性(9.2%)、女性(7.7%)
- ・悪くなっていく・・・男性(44.9%)、女性(37.8%)

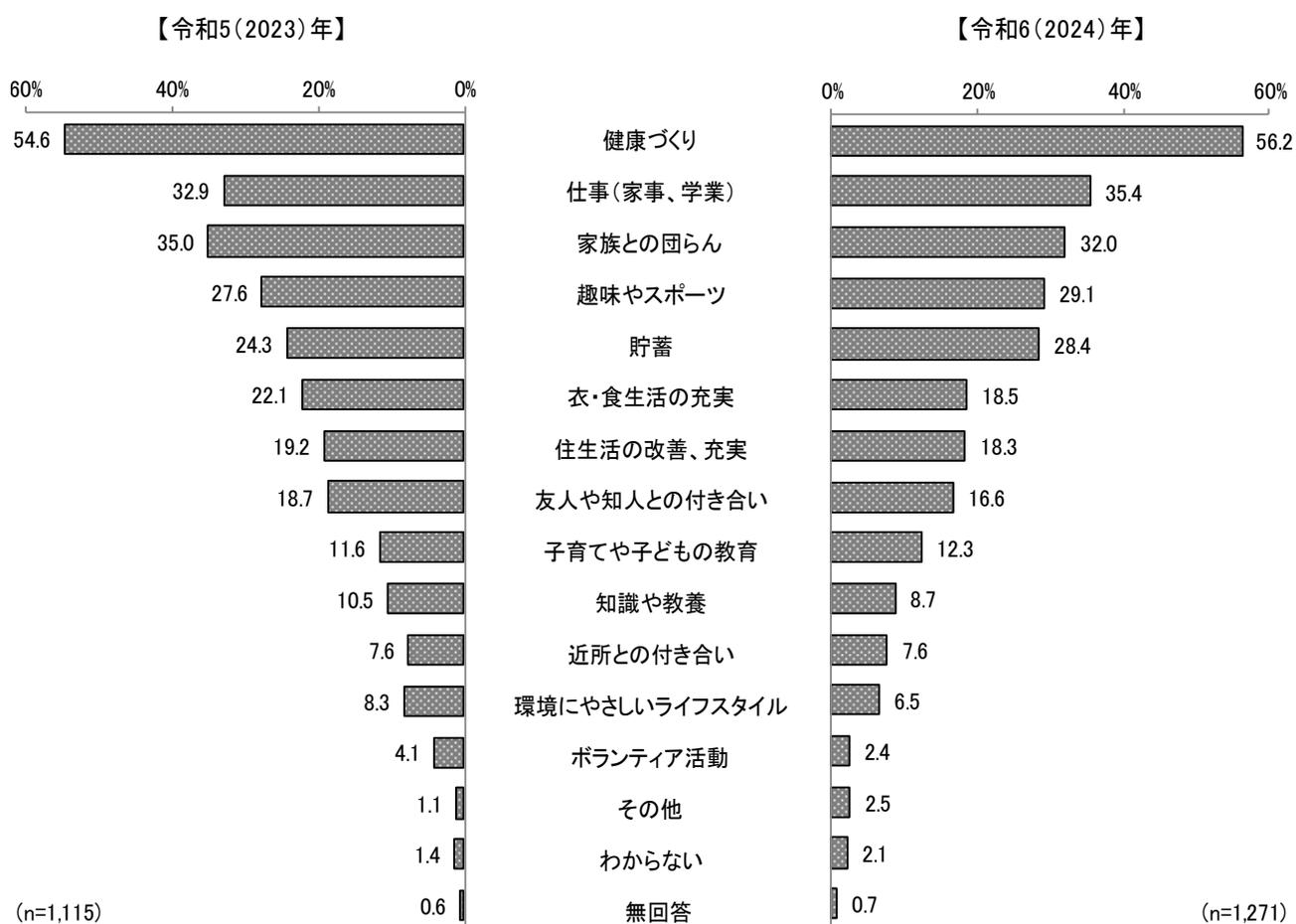
【性/年齢別】

- ・良くなっていく・・・男性20歳代(34.9%)が最も高く、女性65~69歳(1.6%)が最も低い。
- ・悪くなっていく・・・男性60~64歳、女性65~69歳(ともに50.0%)が最も高く、女性20歳代(19.1%)が最も低い。

(5) 今後の暮らしで力を入れる点

問5 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。 [n = 1,271]

項目	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	R5との差
健康づくり	54.6%	56.2%	1.6 (増)
仕事 (家事、学業)	32.9%	35.4%	2.5 (増)
家族との団らん	35.0%	32.0%	3.0 (減)



【性別】

・趣味やスポーツ・・・男性 (35.8%)、女性 (23.2%)、男女差 (12.6ポイント) と最も差が大きい。

【性/年齢別】

・仕事 (家事、学業)・・・男性20歳代 (65.1%) と他の年齢に比べて高い。

・健康づくり・・・男性70歳以上 (79.9%)、女性65～69歳 (79.0%)、女性70歳以上 (77.3%)、女性60～64歳 (72.5%) と他の年齢に比べて高い。

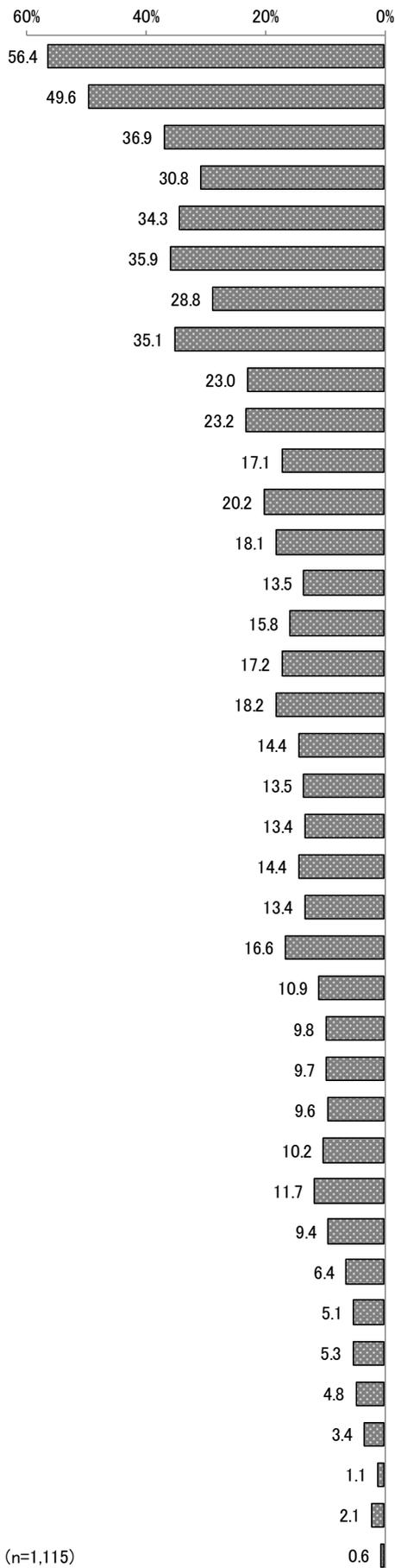
2 県政への要望について

(1) 県政への要望

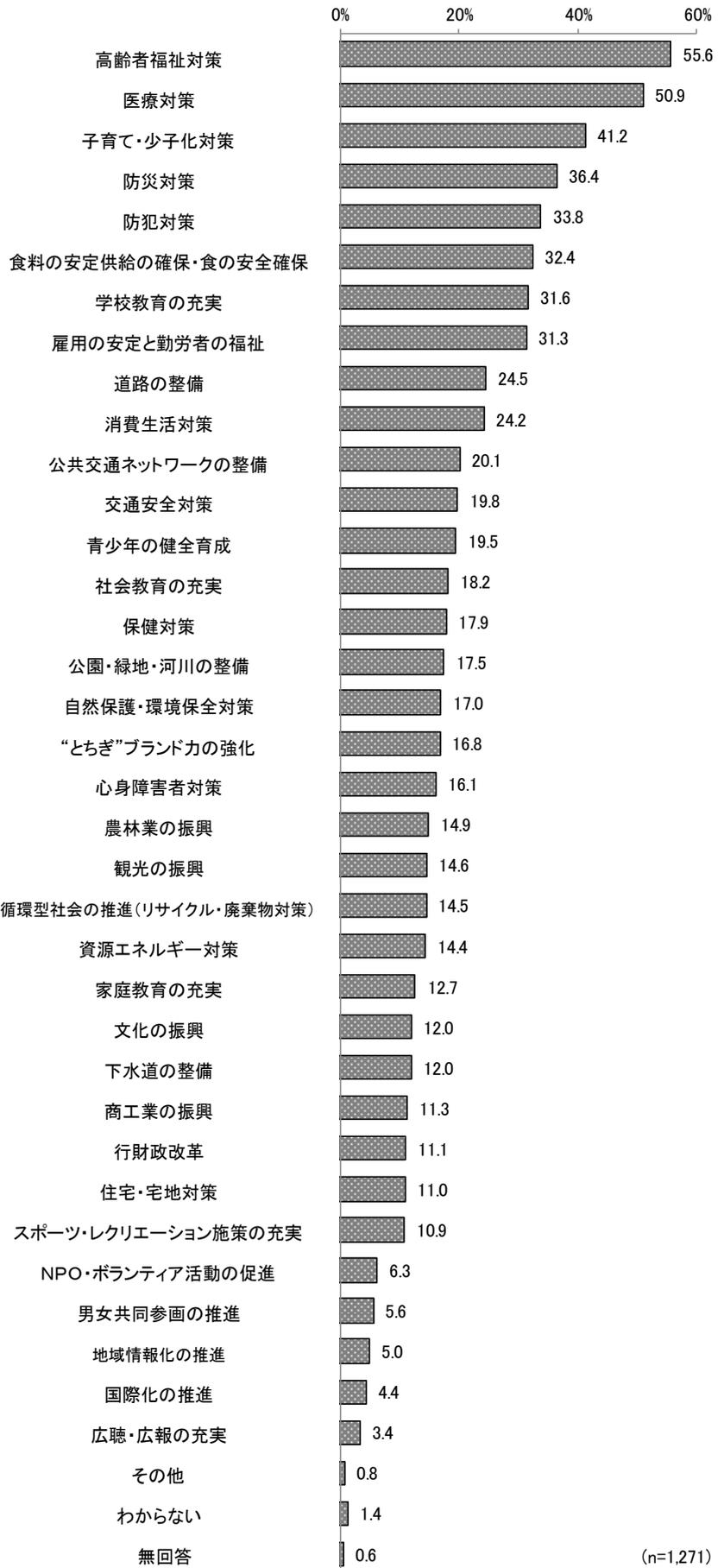
問6 県では、皆様のご理解とご協力を得ながら、「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」をめざして様々な仕事をしています。あなたが、県政に対して、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n = 1,271]

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
高齢者福祉対策	56.4%	55.6%	0.8(減)
医療対策	49.6%	50.9%	1.3(増)
子育て・少子化対策	36.9%	41.2%	4.3(増)
防災対策	30.8%	36.4%	5.6(増)
防犯対策	34.3%	33.8%	0.5(減)

【令和5(2023)年】



【令和6(2024)年】



[過去の調査結果一年齢別]

(上位5項目)

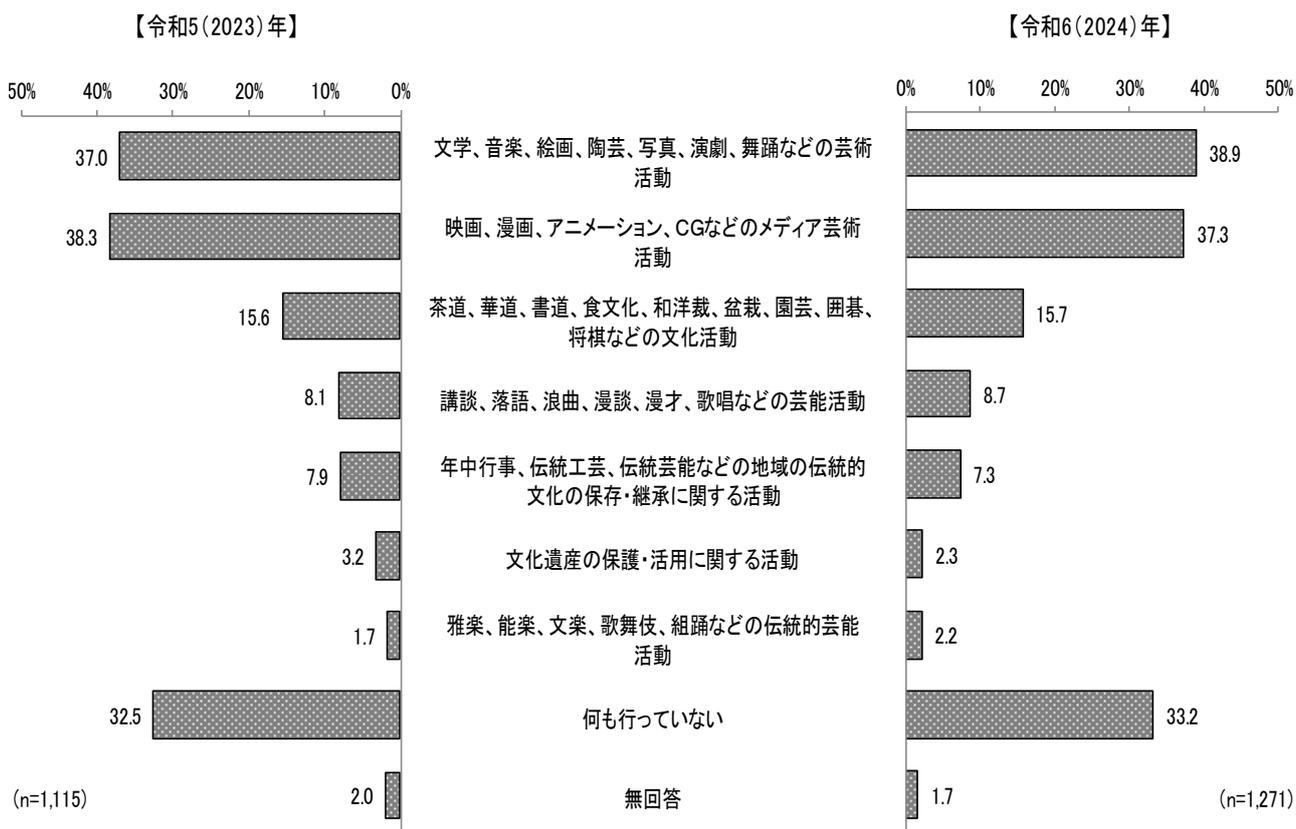
年齢	順位		1位	2位	3位	4位	5位
	年						
全体	令和6(2024)年 (n=1,271)	高齢者福祉対策 55.6%	医療対策 50.9%	子育て・少子化対策 41.2%	防災対策 36.4%	防災対策 33.8%	
	令和5(2023)年 (n=1,115)	高齢者福祉対策 56.4%	医療対策 49.6%	子育て・少子化対策 36.9%	食料の安定供給の確保 ・食の安全確保 35.9%	雇用の安定と勤労者 の福祉 35.1%	
	令和4(2022)年 (n=1,236)	高齢者福祉対策 52.7%	医療対策 47.2%	雇用の安定と勤労者 の福祉 35.6%	子育て・少子化対策 35.4%	防災対策 33.7%	
	令和3(2021)年 (n=1,288)	高齢者福祉対策 52.7%	医療対策 51.9%	防災対策 38.5%	雇用の安定と勤労者 の福祉 36.3%	子育て・少子化対策 35.2%	
	令和2(2020)年 (n=1,307)	高齢者福祉対策/医療対策 53.3%		防災対策 40.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 36.3%	子育て・少子化対策 31.9%	
20 〜 39 歳	令和6(2024)年 (n=236)	子育て・少子化対策 55.5%	医療対策 46.6%	学校教育の充実 44.9%	防災対策 37.7%	防災対策 36.0%	
	令和5(2023)年 (n=188)	子育て・少子化対策 59.0%	雇用の安定と勤労者 の福祉 46.3%	学校教育の充実 44.1%	医療対策 43.1%	防災対策 33.5%	
	令和4(2022)年 (n=213)	子育て・少子化対策 52.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 43.7%	医療対策 41.8%	学校教育の充実 40.4%	防災対策 37.6%	
	令和3(2021)年 (n=288)	子育て・少子化対策 58.7%	学校教育の充実 44.8%	医療対策 42.4%	雇用の安定と勤労者 の福祉 41.0%	防災対策 37.5%	
	令和2(2020)年 (n=218)	子育て・少子化対策 52.3%	医療対策 46.8%	学校教育の充実 46.3%	雇用の安定と勤労者 の福祉 41.3%	防災対策 37.2%	
40 〜 59 歳	令和6(2024)年 (n=382)	医療対策 49.2%	子育て・少子化対策/高齢者福祉対策 46.1%		学校教育の充実 40.3%	雇用の安定と勤労者 の福祉 40.1%	
	令和5(2023)年 (n=329)	医療対策 55.0%	高齢者福祉対策 51.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 45.0%	子育て・少子化対策 38.6%	防災対策 34.7%	
	令和4(2022)年 (n=379)	医療対策 53.6%	高齢者福祉対策 50.1%	雇用の安定と勤労者 の福祉 46.2%	子育て・少子化対策 39.6%	学校教育の充実/ 防災対策 34.8%	
	令和3(2021)年 (n=398)	医療対策 54.5%	高齢者福祉対策 48.7%	雇用の安定と勤労者 の福祉 42.2%	防災対策 38.7%	子育て・少子化対策 33.2%	
	令和2(2020)年 (n=449)	医療対策 55.0%	高齢者福祉対策 49.7%	雇用の安定と勤労者 の福祉 46.3%	防災対策 43.4%	学校教育の充実 34.7%	
60 〜 69 歳	令和6(2024)年 (n=227)	高齢者福祉対策 72.2%	医療対策 62.1%	防災対策 42.3%	食料の安定供給の確保 ・食の安全確保 37.4%	子育て・少子化対策 36.6%	
	令和5(2023)年 (n=221)	高齢者福祉対策 67.4%	医療対策 51.6%	食料の安定供給の確保 ・食の安全確保 38.0%	防災対策 37.6%	防災対策 35.7%	
	令和4(2022)年 (n=228)	高齢者福祉対策 61.4%	医療対策 46.9%	防災対策 32.0%	雇用の安定と勤労者 の福祉 31.6%	子育て・少子化対策 30.7%	
	令和3(2021)年 (n=247)	高齢者福祉対策 67.6%	医療対策 59.5%	防災対策 41.7%	雇用の安定と勤労者 の福祉 36.0%	防災対策 30.8%	
	令和2(2020)年 (n=271)	高齢者福祉対策 62.7%	医療対策 55.4%	防災対策 43.2%	雇用の安定と勤労者 の福祉 30.3%	防災対策 26.9%	
70 歳 以上	令和6(2024)年 (n=401)	高齢者福祉対策 73.8%	医療対策 49.9%	食料の安定供給の確保 ・食の安全確保 35.9%	防災対策 35.2%	防災対策 32.9%	
	令和5(2023)年 (n=355)	高齢者福祉対策 73.8%	医療対策 47.6%	食料の安定供給の確保 ・食の安全確保 41.4%	防災対策 31.8%	防災対策 27.9%	
	令和4(2022)年 (n=379)	高齢者福祉対策 67.5%	医療対策 44.1%	食料の安定供給の確保 ・食の安全確保 37.2%	防災対策 33.0%	防災対策 26.9%	
	令和3(2021)年 (n=312)	高齢者福祉対策 67.9%	医療対策 51.0%	防災対策 37.8%	食料の安定供給の確保 ・食の安全確保 30.8%	防災対策 28.2%	
	令和2(2020)年 (n=315)	高齢者福祉対策 67.9%	医療対策 54.3%	防災対策 34.6%	防災対策 28.6%	食料の安定供給の確保 ・食の安全確保 26.0%	

3 日常生活について

(1) 文化・芸術活動について

問7 あなたが日ごろ行っている文化・芸術活動（鑑賞を含む）は、どのようなものですか。
次の中からいくつでも選んでください。 [n = 1, 271]

項目	令和5（2023）年	令和6（2024）年	R5との差
文学、音楽、絵画、陶芸、写真、演劇、舞踊などの芸術活動	37.0%	38.9%	1.9（増）
映画、漫画、アニメーション、CGなどのメディア芸術活動	38.3%	37.3%	1.0（減）
茶道、華道、書道、食文化、和洋裁、盆栽、園芸、囲碁、将棋などの文化活動	15.6%	15.7%	0.1（増）

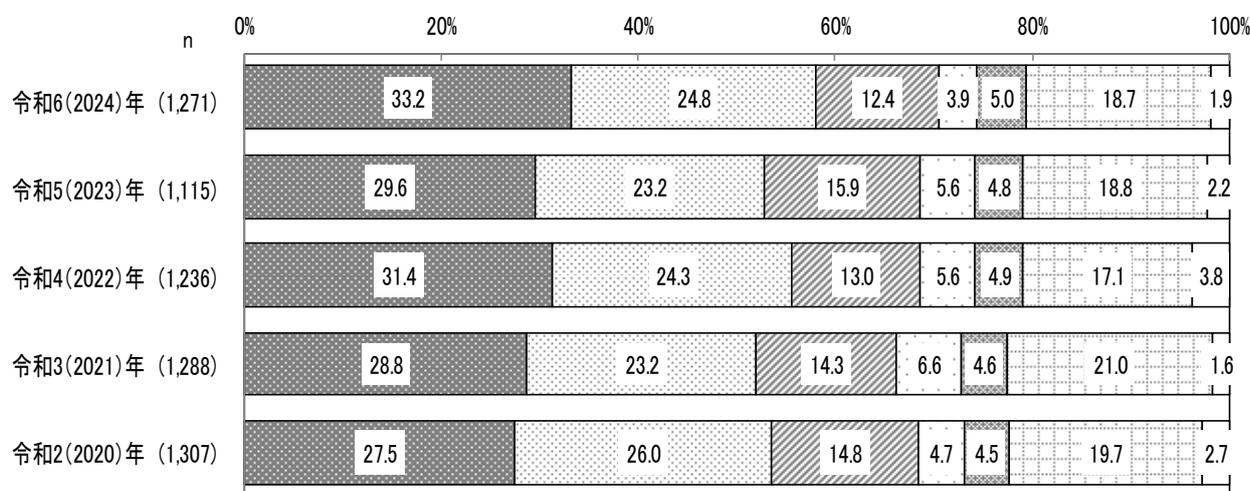
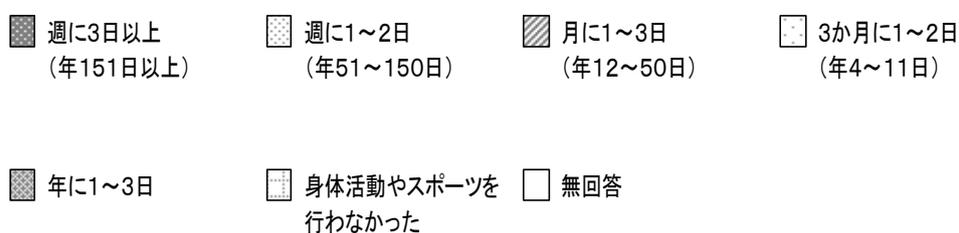


(2) スポーツ活動について

問8 あなたは、この1年間にどの程度身体活動やスポーツ(※)を行いましたか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,271]

※ ここでは「身体活動やスポーツ」を、「散歩や階段昇降など、健康・体力や美容の保持増進のための活動」や「家事・育児・通勤・通学など日常生活の中で意識的に身体を動かすこと」まで幅広く捉えることとします。

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
週に3日以上(年151日以上)	29.6%	33.2%	3.6(増)
週に1~2日(年51~150日)	23.2%	24.8%	1.6(増)
月に1~3日(年12~50日)	15.9%	12.4%	3.5(減)

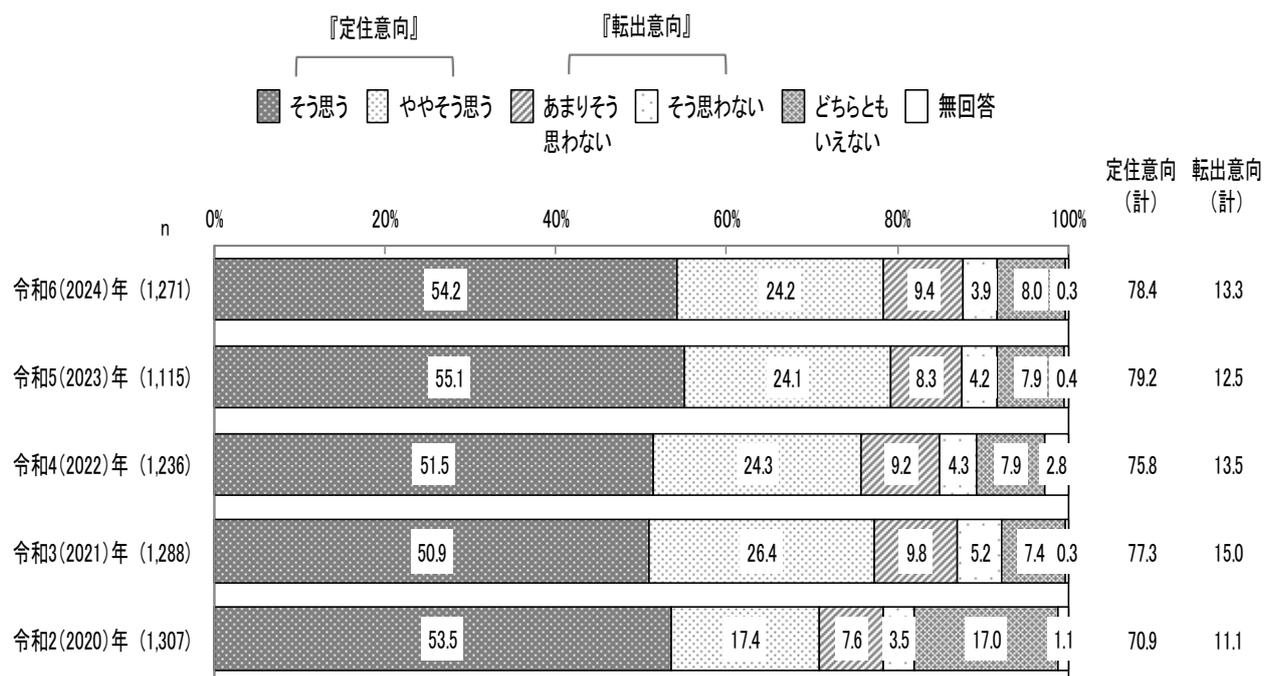


注) 「身体活動やスポーツを行わなかった」は、令和5(2023)年までは「運動やスポーツを行わなかった」としていた。

(3) 住んでいる地域について

問9 あなたは、住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,271]

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
『定住意向』	79.2%	78.4%	0.8(減)
『転出意向』	12.5%	13.3%	0.8(増)

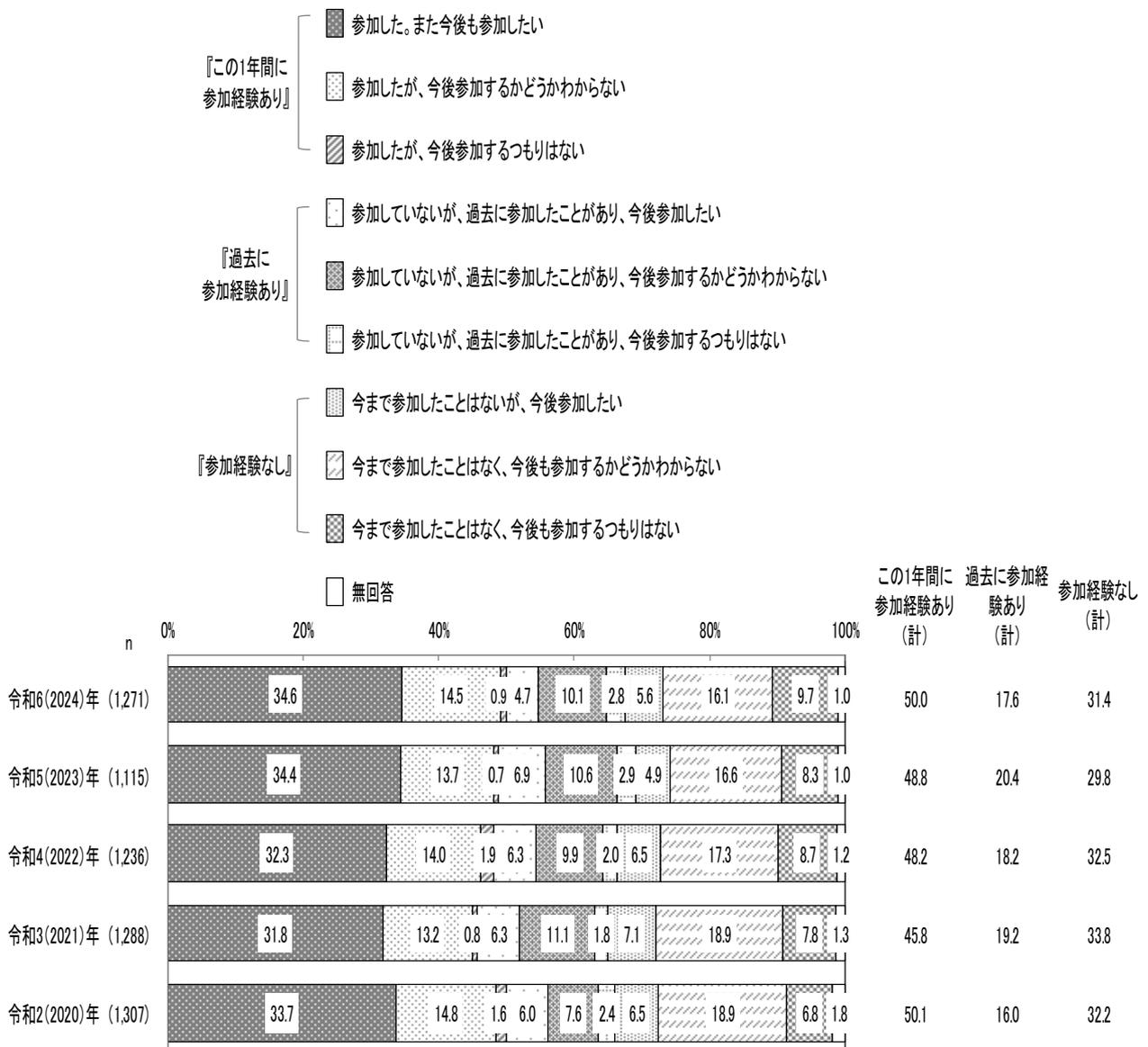


(4) 社会貢献活動について

問10 あなたは、この1年間に社会貢献活動(※)に参加しましたか。また、今後参加したいと思えますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,271]

※ 社会貢献活動とは、例えば、募金、寄附、プルタブ・エコキャップなどの物品収集、公園清掃などの活動、ボランティアやNPO(非営利活動団体)活動、コミュニティ活動、自治会、育成会などの地域活動などをいいます。

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
『この1年間に参加経験あり』	48.8%	50.0%	1.2(増)
『過去に参加経験あり』	20.4%	17.6%	2.8(減)
『参加経験なし』	29.8%	31.4%	1.6(増)



注) 「参加した。また今後も参加したい」は、令和2(2020)年までは「参加し、今後も参加したい」としていた。

4 地域のつながりについて

(1) ご近所との関係

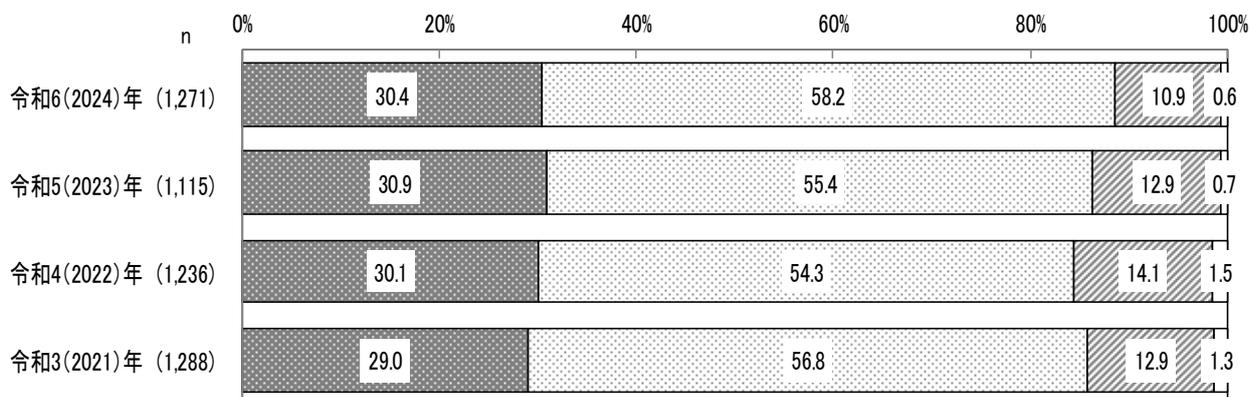
問11 あなたは現在、ご近所（両隣など）の方とどのような関係ですか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,271]

項目	令和5（2023）年	令和6（2024）年	R5との差
家族構成や人となりなどもよく知っていて、親しく付き合っている	30.9%	30.4%	0.5（減）
顔と名前が分かり挨拶をする程度である	55.4%	58.2%	2.8（増）
ほとんど、もしくはまったく付き合っていない	12.9%	10.9%	2.0（減）

■ 家族構成や人となりなどもよく知っていて、顔と名前が分かり挨拶をする程度である
親しく付き合っている

▨ ほとんど、もしくはまったく付き合っていない

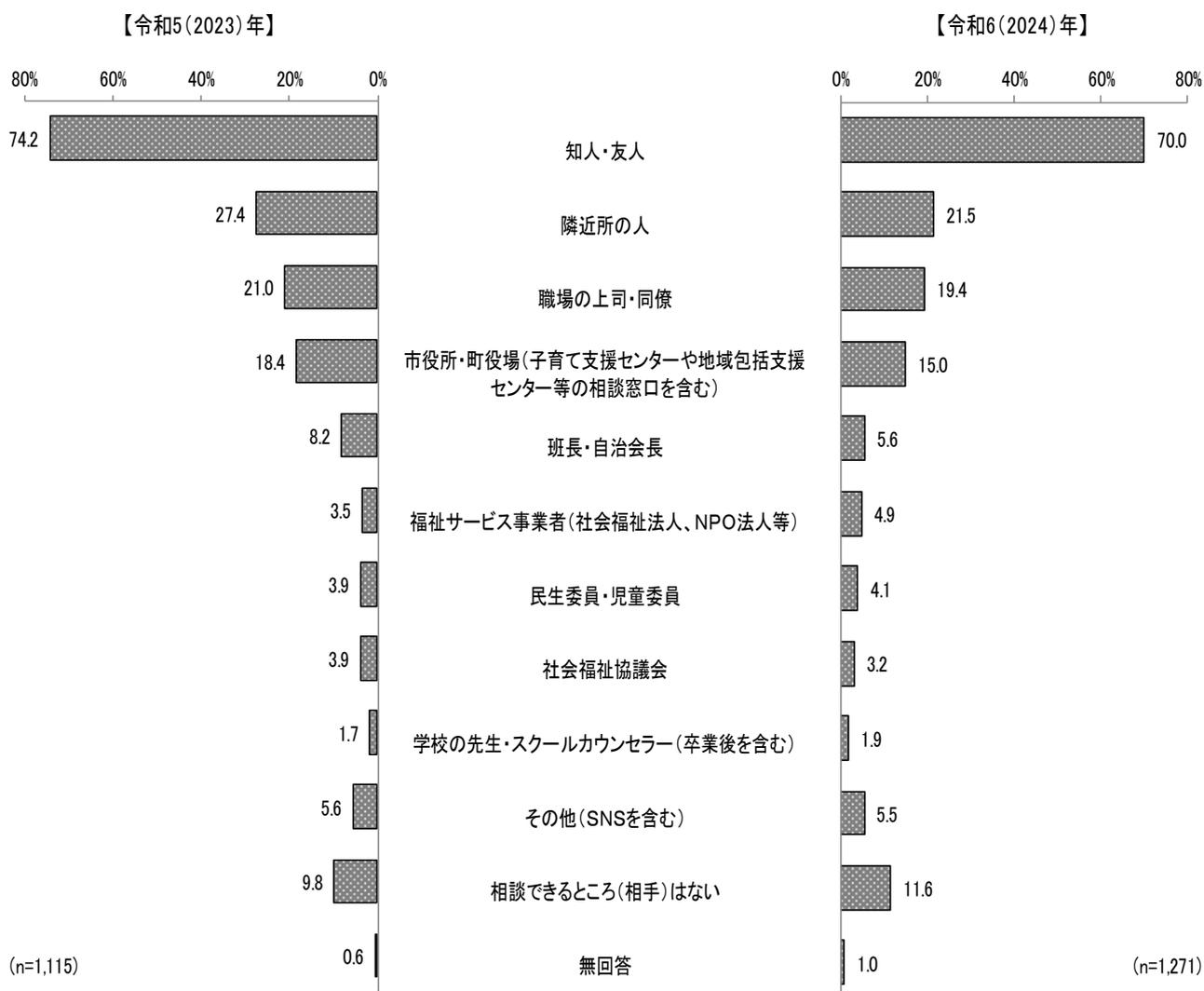
□ 無回答



(2) 家族・親族以外で相談できるところ

問12 日常生活で困ったときに、家族・親族以外で相談できるところ（相手）はどこ（誰）ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,271]

項目	令和5（2023）年	令和6（2024）年	R5との差
知人・友人	74.2%	70.0%	4.2（減）
隣近所の人	27.4%	21.5%	5.9（減）
職場の上司・同僚	21.0%	19.4%	1.6（減）

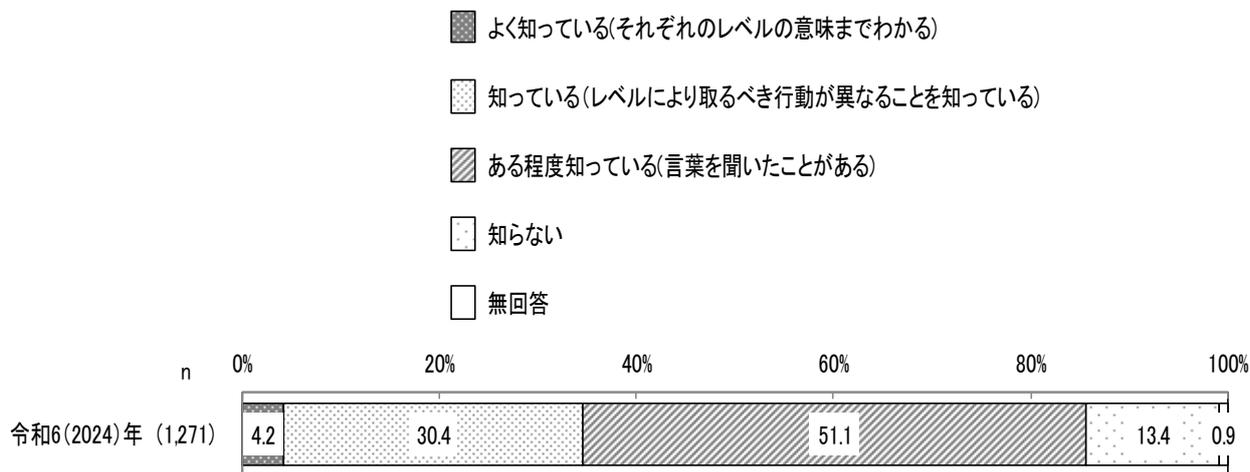


5 防災対策について

(1) 避難情報（5段階の警戒レベル）の認知度

問13 あなたは、水害や土砂災害において避難するタイミングの目安となる「5段階の警戒レベル（高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保など）」を知っていますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1,271]

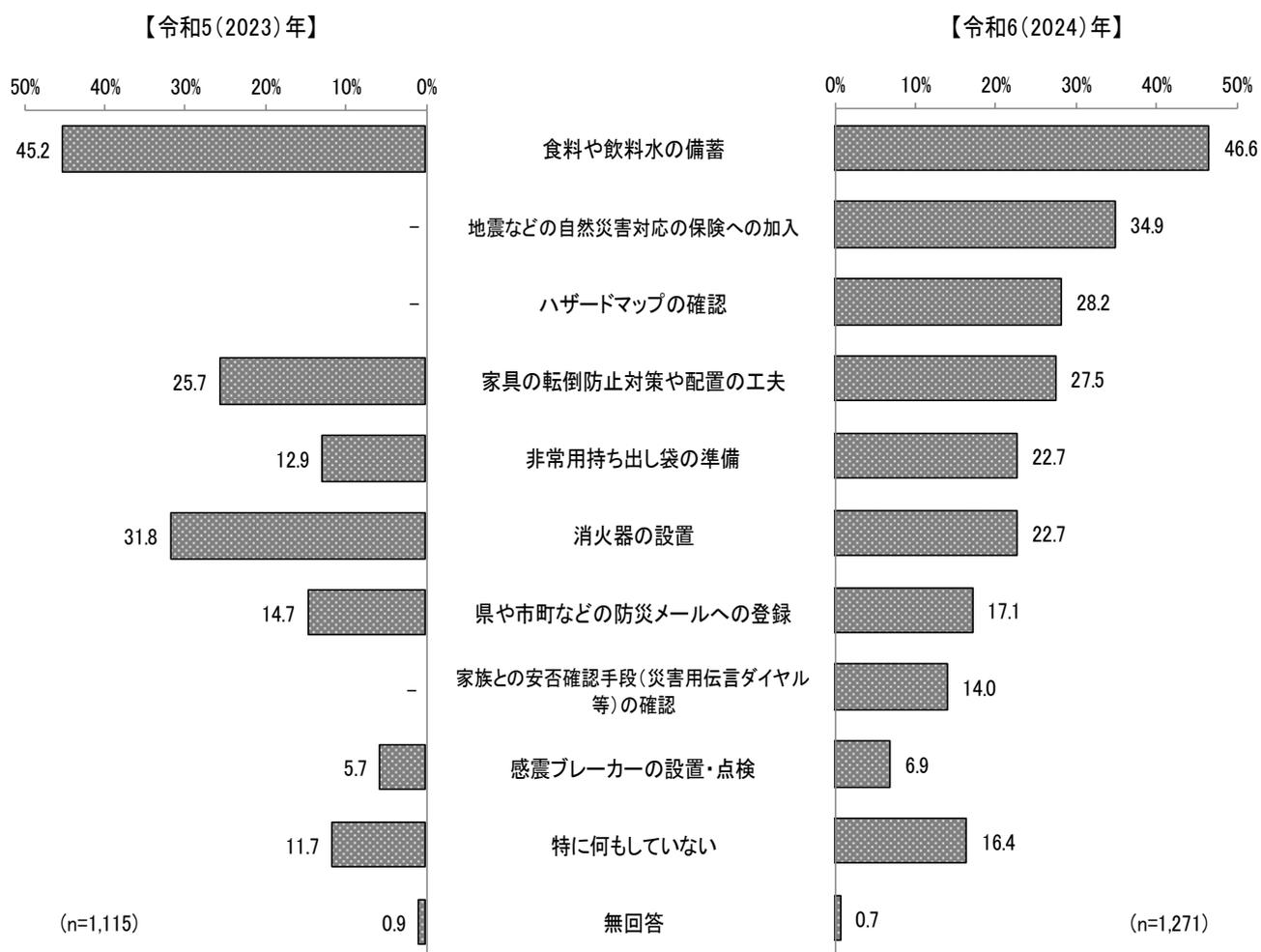
項目	令和6（2024）年
ある程度知っている（言葉を聞いたことがある）	51.1%
知っている（レベルにより取るべき行動が異なることを知っている）	30.4%
知らない	13.4%



(2) 災害に対する備え

問14 あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか。次の中からいくつでも選んでください。 [n = 1,271]

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
食材や飲料水の備蓄	45.2%	46.6%	1.4(増)
家具の転倒防止対策や配置の工夫	25.7%	27.5%	1.8(増)
非常用持ち出し袋の準備	12.9%	22.7%	9.8(増)



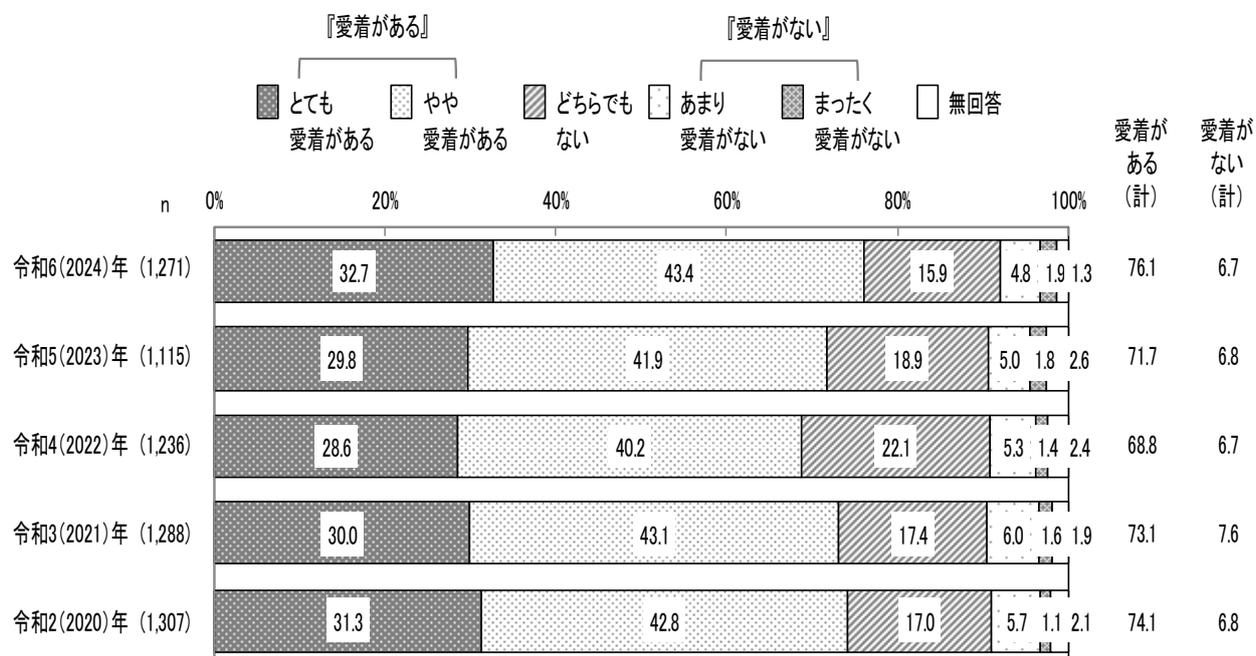
注) 「地震などの自然災害対応の保険への加入」「ハザードマップの確認」「家族との安否確認手段(災害用伝言ダイヤル等)の確認」は、令和6(2024)年の新設。

6 栃木県への愛着と誇りについて

(1) 栃木県に対する愛着

問15 あなたは、「栃木県」に対してどの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1, 271]

項目	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	R5との差
『愛着がある』	71.7%	76.1%	4.4 (増)
『愛着がない』	6.8%	6.7%	0.1 (減)

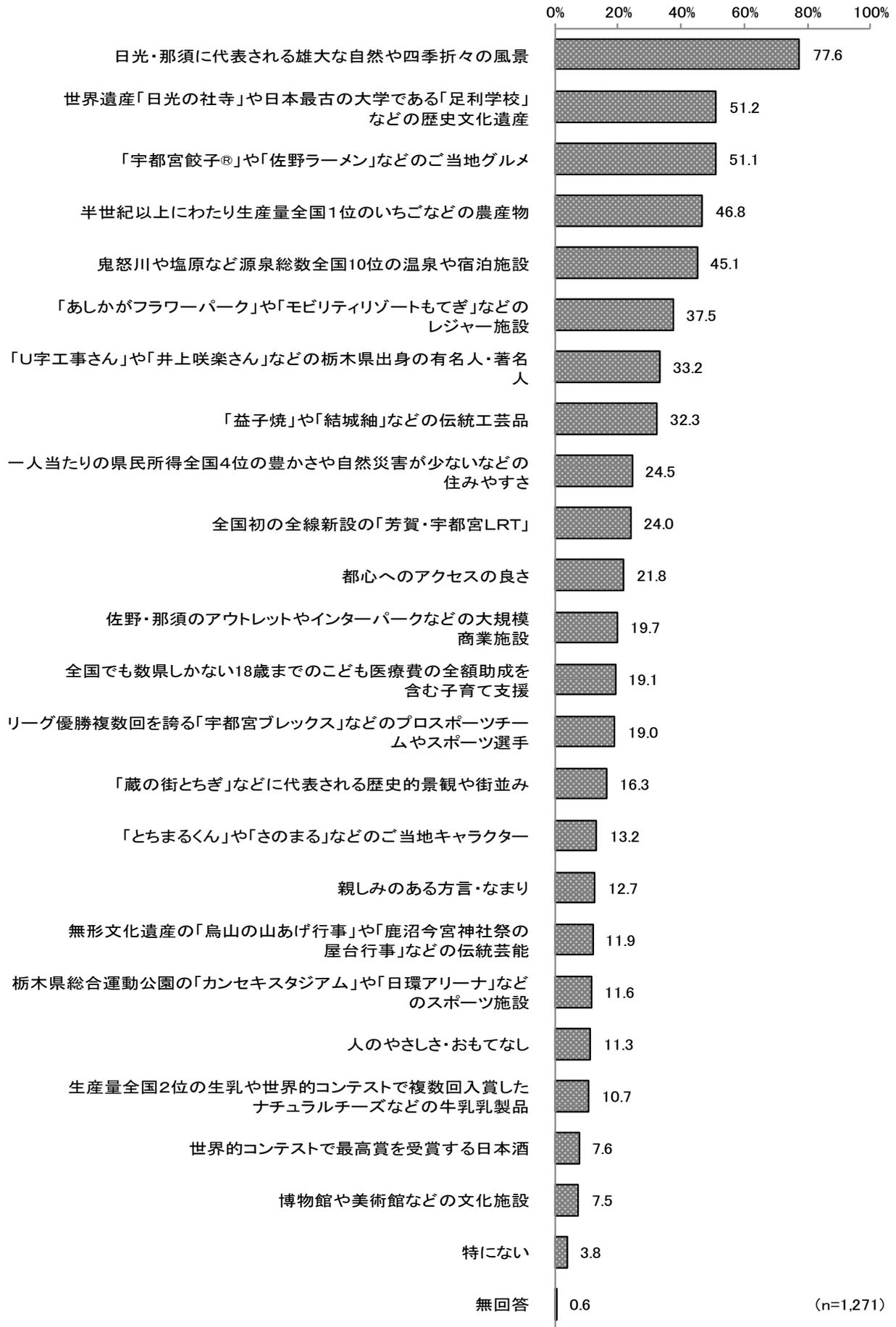


(2) 栃木県の魅力あるものとして自慢できるもの

問16 あなたが「栃木県」の魅力あるものとして自慢できるもの、オススメするものは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,271]

項目	令和6（2024）年
日光・那須に代表される雄大な自然や四季折々の風景	77.6%
世界遺産「日光の社寺」や日本最古の大学である「足利学校」などの歴史文化遺産	51.2%
「宇都宮餃子®」や「佐野ラーメン」などのご当地グルメ	51.1%
半世紀以上にわたり生産量全国1位のいちごなどの農産物	46.8%
鬼怒川や塩原など源泉総数全国10位の温泉や宿泊施設	45.1%

【令和6(2024)年】



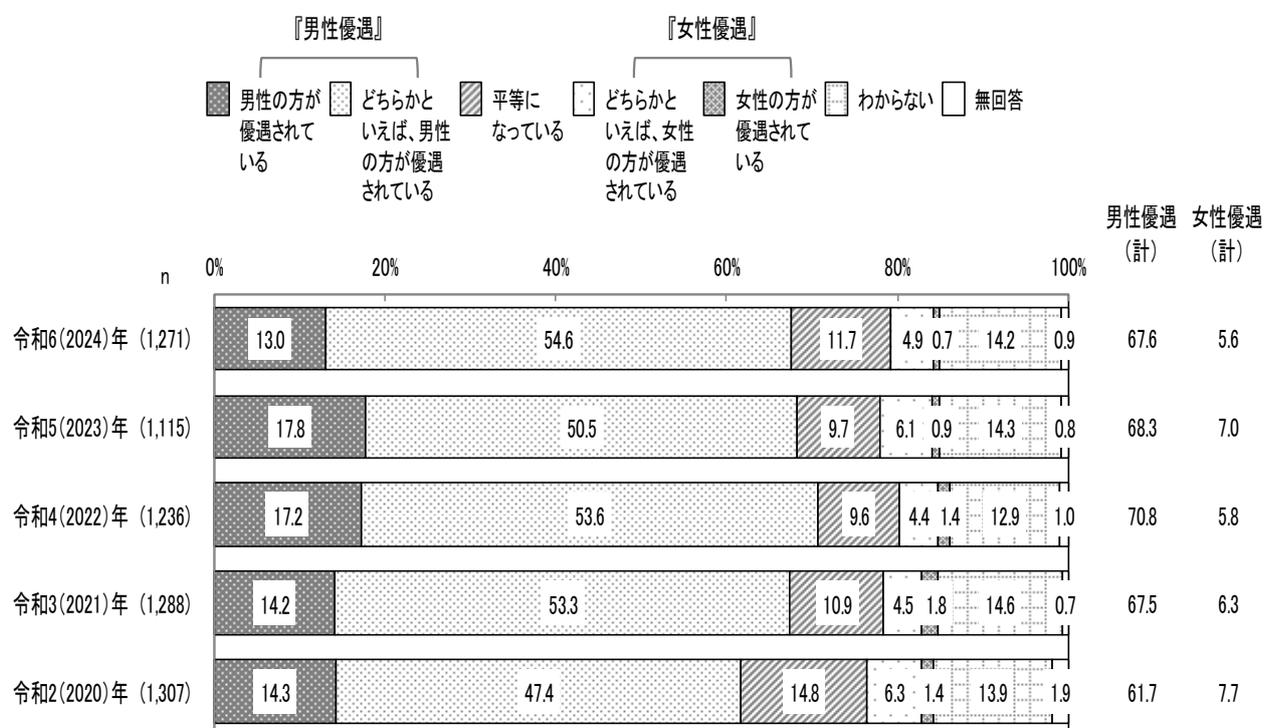
(n=1,271)

7 男女平等意識について

(1) 社会全体の中での男女の地位の平等感

問17 あなたは、現在、社会全体の中で、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1, 271]

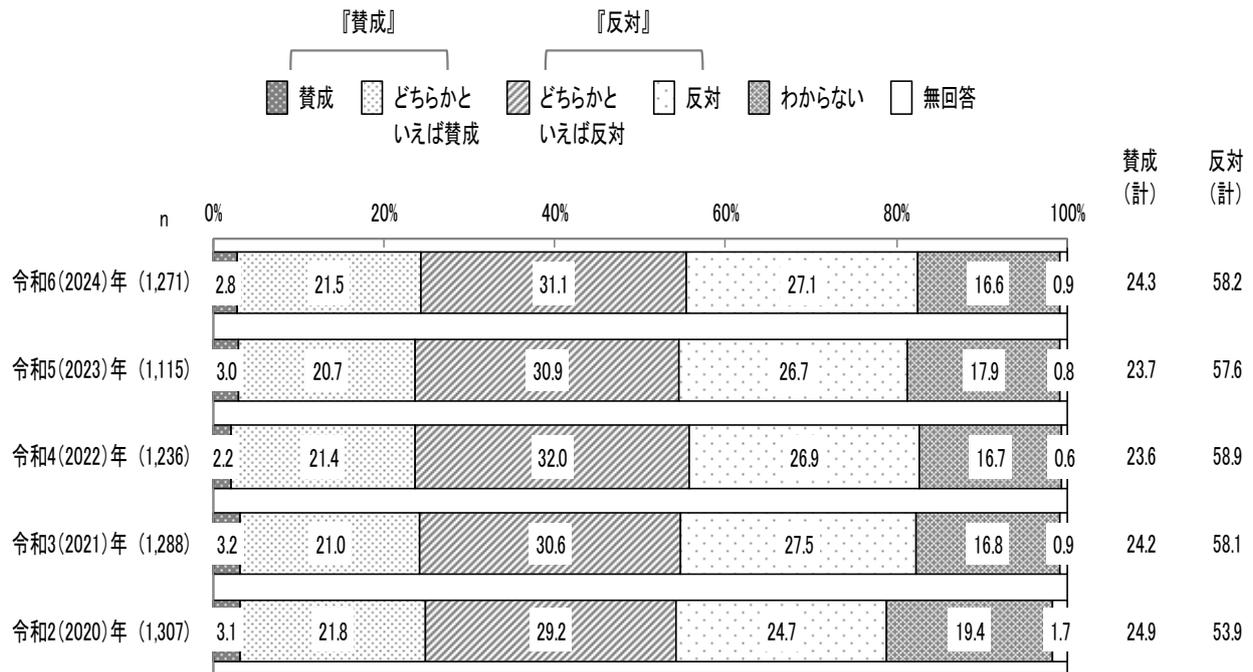
項目	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	R5との差
『男性優遇』	68.3%	67.6%	0.7 (減)
『女性優遇』	7.0%	5.6%	1.4 (減)
平等になっている	9.7%	11.7%	2.0 (増)



(2) 固定的な性別役割分担意識

問18 あなたは、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」との考え方について、どのように思いますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,271]

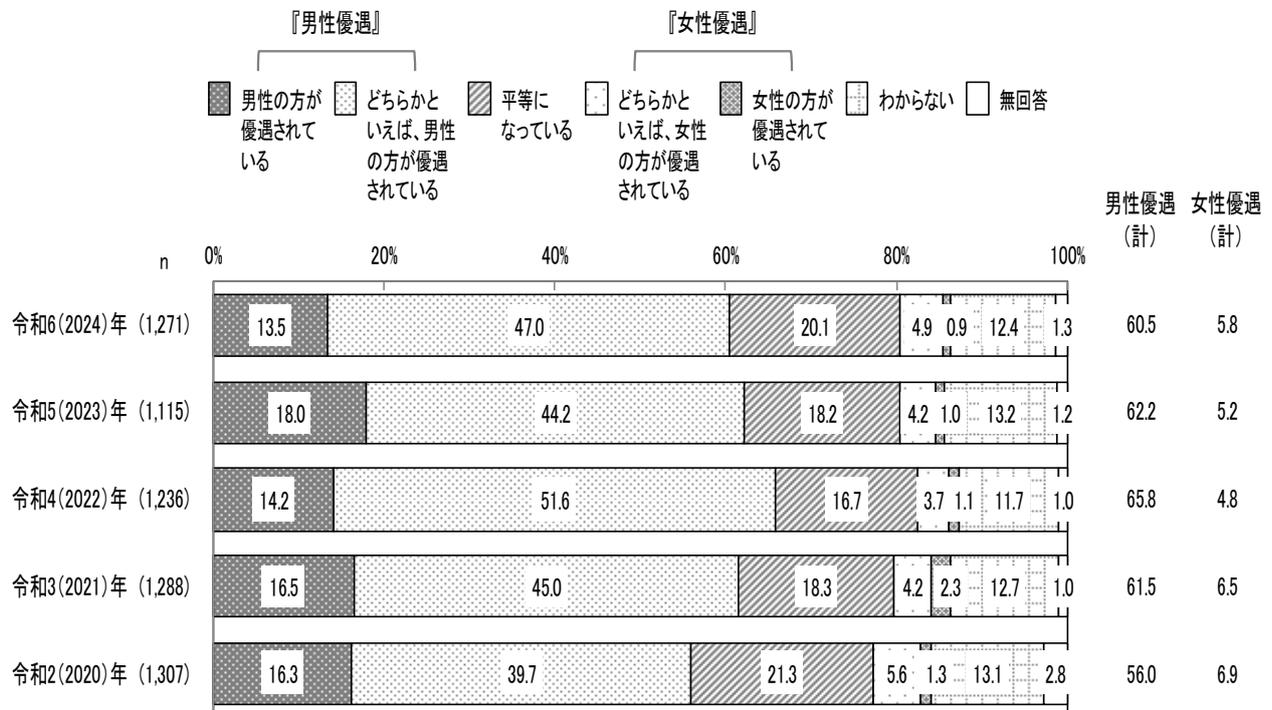
項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
『賛成』	23.7%	24.3%	0.6(増)
『反対』	57.6%	58.2%	0.6(増)



(3) 働く場での男女の地位の平等感

問19 あなたは、現在、働く場において、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の中から1つ選んでください。(現在働いていない方も、イメージでお答えください。)
[n=1,271]

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
『男性優遇』	62.2%	60.5%	1.7(減)
『女性優遇』	5.2%	5.8%	0.6(増)
平等になっている	18.2%	20.1%	1.9(増)



8 生涯学習について

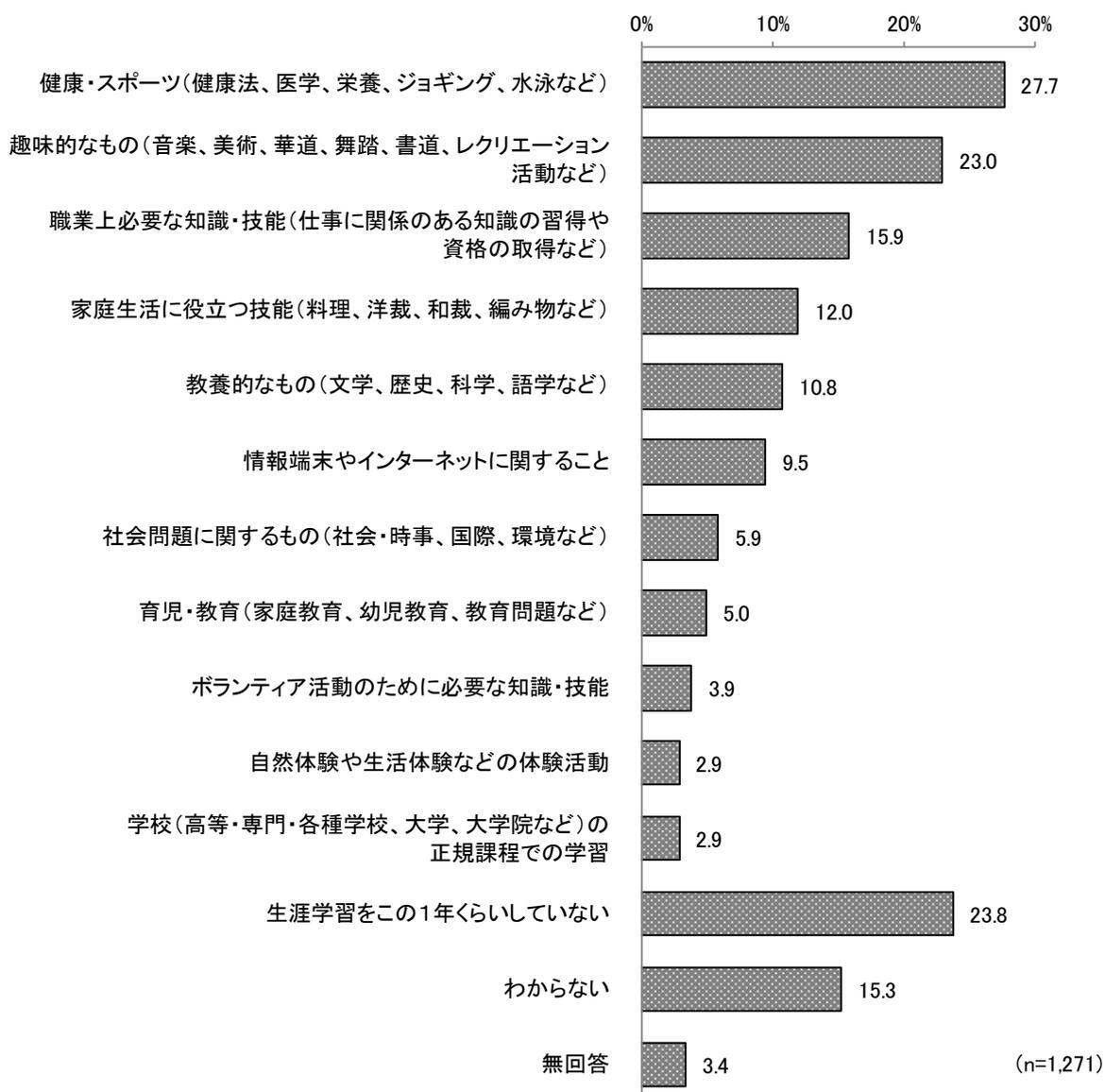
(1) 最近1年間に行った生涯学習の種類

問20 あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習（※）をしたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,271]

※ 生涯学習とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校での学習や公民館などにおける講座等の学習はもとより、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などの様々な学習活動のことをいいます。

項目	令和6（2024）年
健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）	27.7%
趣味的なもの （音楽、美術、華道、舞踏、書道、レクリエーション活動など）	23.0%
職業上必要な知識・技能 （仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）	15.9%

【令和6（2024）年】



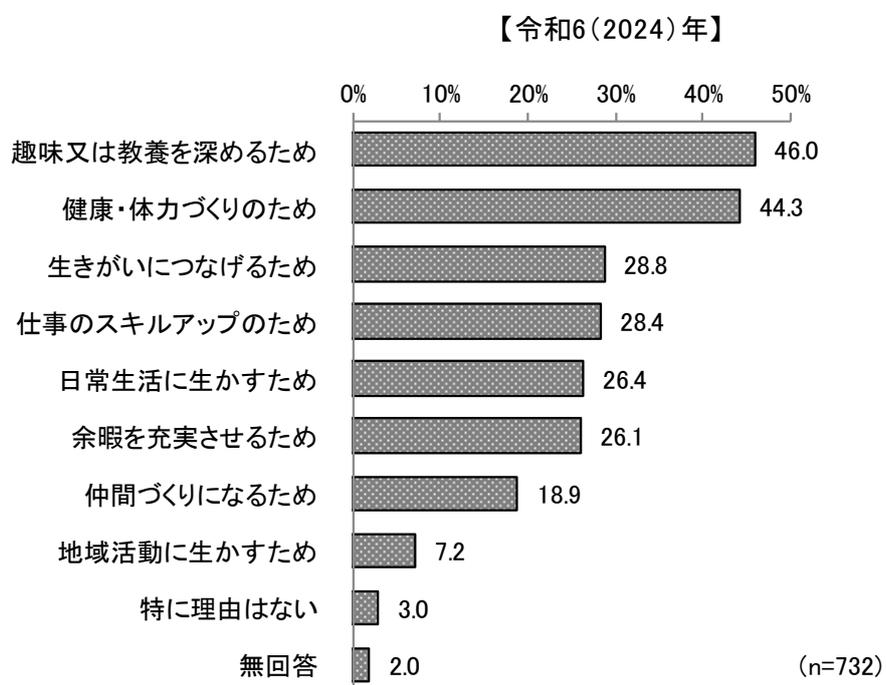
(2) 生涯学習を行った理由

(問20で選択肢「1」～「11」を選んだ方のみお答えください)

問21 あなたが、生涯学習を行った理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=732]

項目	令和6(2024)年
趣味又は教養を深めるため	46.0%
健康・体力づくりのため	44.3%
生きがいにつなげるため	28.8%

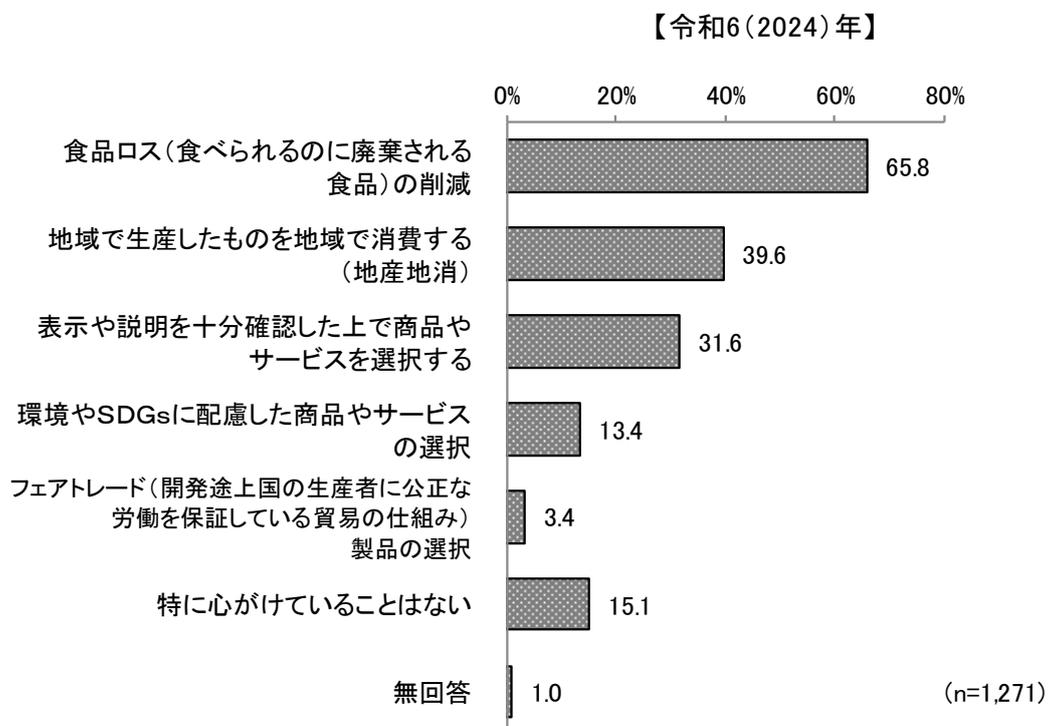


9 消費生活に関する意識について

(1) 消費行動を行う際に配慮していること

問22 近年、人や社会・地域環境・地域等に配慮した消費行動に関心が高まっていますが、あなたが買い物など、消費行動を行う際に配慮していることはありますか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,271]

項目	令和6（2024）年
食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減	65.8%
地域で生産したものを地域で消費する（地産地消）	39.6%
表示や説明を十分確認した上で商品やサービスを選択する	31.6%

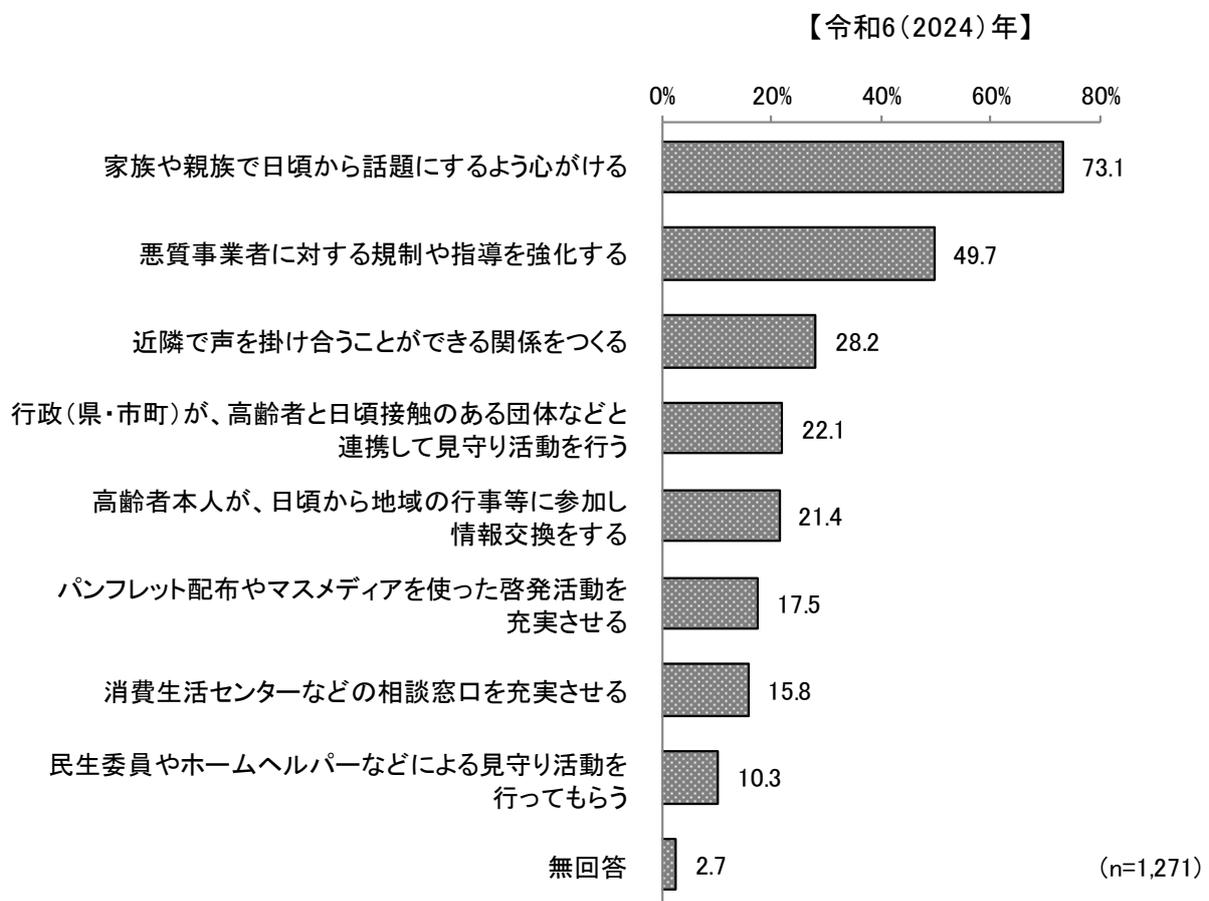


(2) 高齢者の悪質商法被害への有効な対策

問23 高齢者が悪質商法の被害に遭うことが増えています。あなたは、それを防ぐためにはどのような対策が有効だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

[n=1,271]

項目	令和6（2024）年
家族や親族で日頃から話題にするよう心がける	73.1%
悪質事業者に対する規制や指導を強化する	49.7%
近隣で声を掛け合うことができる関係をつくる	28.2%

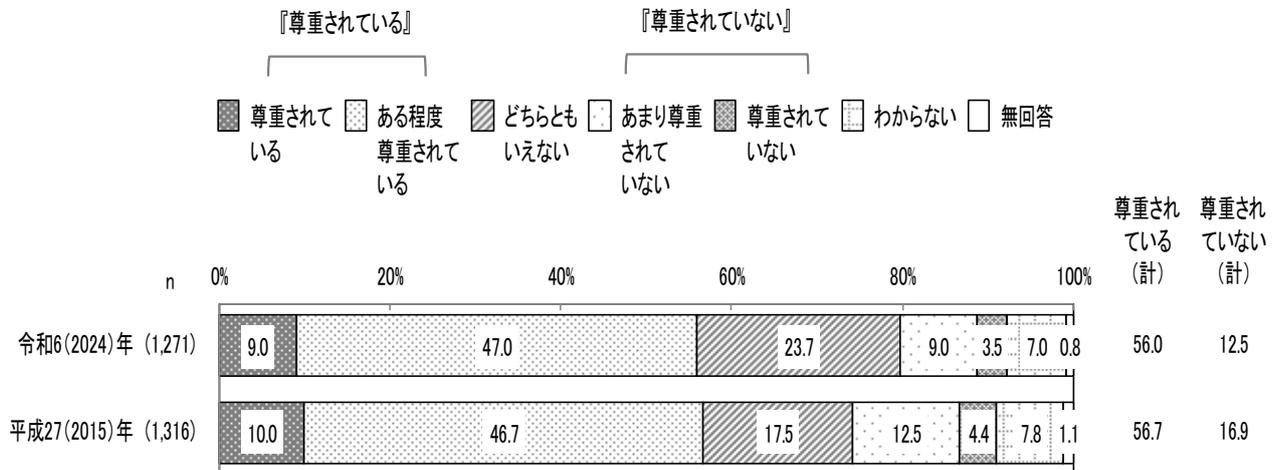


10 県民の人権意識について

(1) 基本的な人権の尊重

問24 あなたは、「現在の日本は、基本的人権が尊重されている社会である」と思いますか。
次の中から1つ選んでください。 [n = 1, 271]

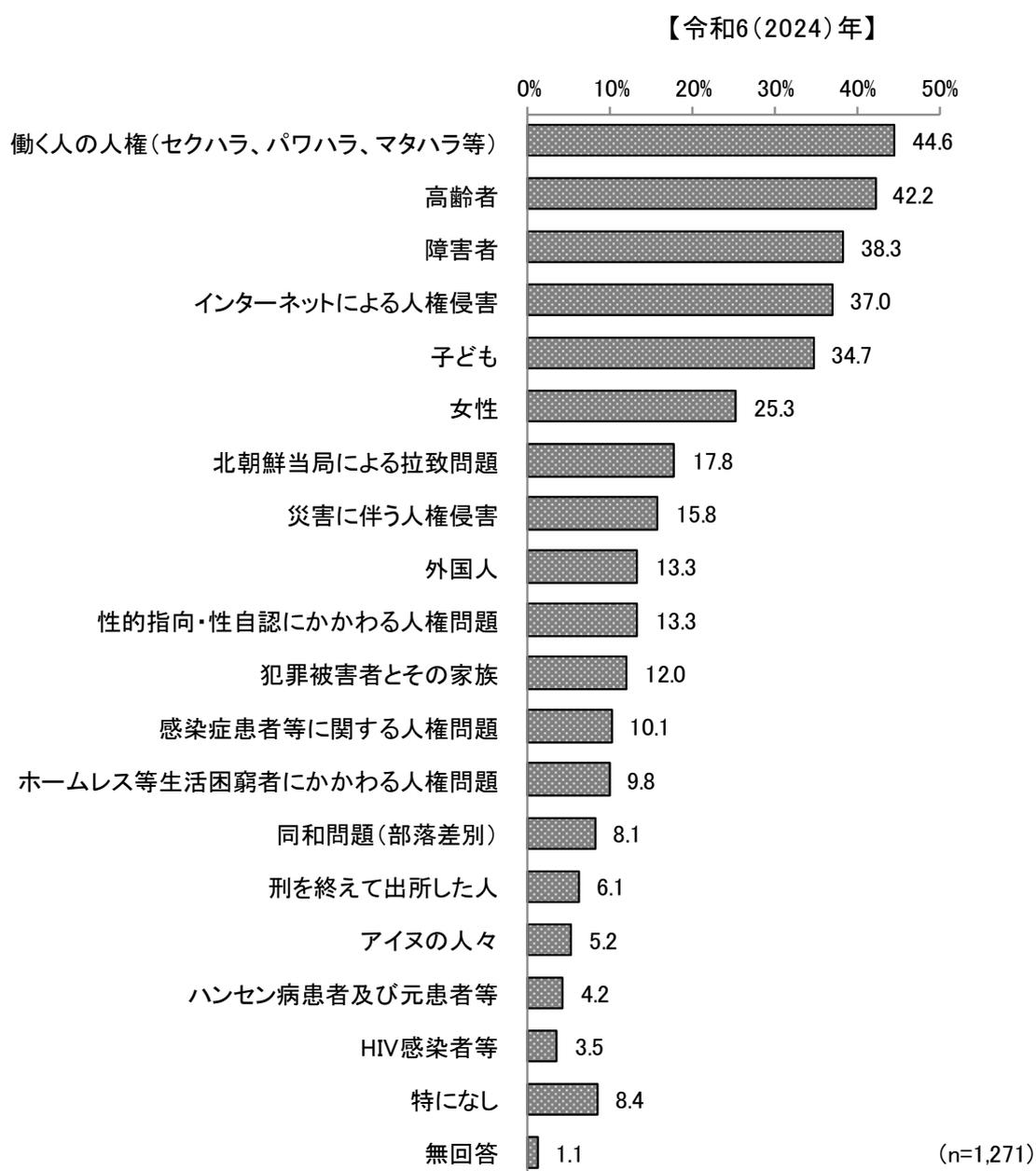
項目	令和6（2024）年
『尊重されている』	56.0%
『尊重されていない』	12.5%



(2) 関心のある人権課題

問25 あなたは、次にあげた人権課題のうち、関心があるものはどれですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,271]

項目	令和6（2024）年
働く人の人権（セクハラ、パワハラ、マタハラ等）	44.6%
高齢者	42.2%
障害者	38.3%



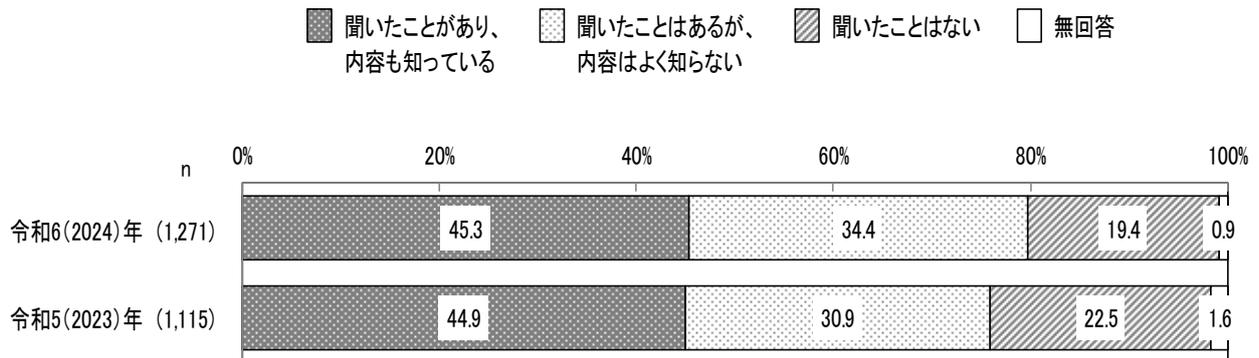
11 ケアラーについて

(1) ケアラーという言葉の認知度

問26 あなたは、「ケアラー」（18歳未満のヤングケアラーを含む。）（※）という言葉を知っていることがありますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,271]

※ 栃木県では、全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく、安心して生活することができる地域社会の実現に向けて、令和5年4月に栃木県ケアラー支援条例を施行しました。この条例において、「ケアラー」とは、「高齢、障害、疾病等の理由により援助を必要とする家族、身近な人その他の者に対し、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する」方と定義しており、「ヤングケアラー」とは、このうち18歳未満の方をいいます。

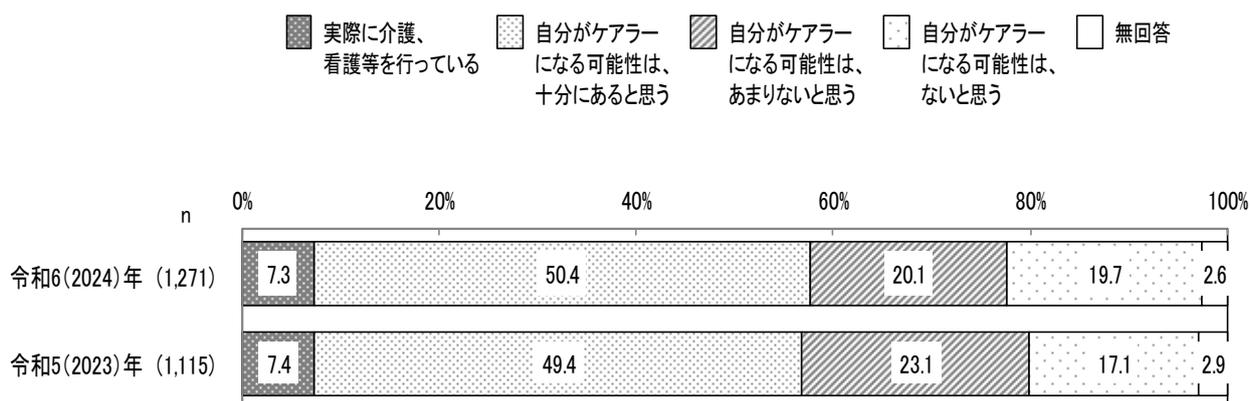
項目	令和5（2023）年	令和6（2024）年	R5との差
聞いたことがあります、 内容も知っている	44.9%	45.3%	0.4（増）
聞いたことはあるが、 内容はよく知らない	30.9%	34.4%	3.5（増）
聞いたことはない	22.5%	19.4%	3.1（減）



(2) ケアラー当事者になる可能性

問27 今後、あなたがケアラー当事者となる可能性について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを、次の中から1つ選んでください。 [n=1,271]

項目	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	R5との差
実際に介護、看護等を行っている	7.4%	7.3%	0.1 (減)
自分がケアラーになる可能性は、十分にあると思う	49.4%	50.4%	1.0 (増)
自分がケアラーになる可能性は、あまりないと思う	23.1%	20.1%	3.0 (減)
自分がケアラーになる可能性は、ないと思う	17.1%	19.7%	2.6 (増)

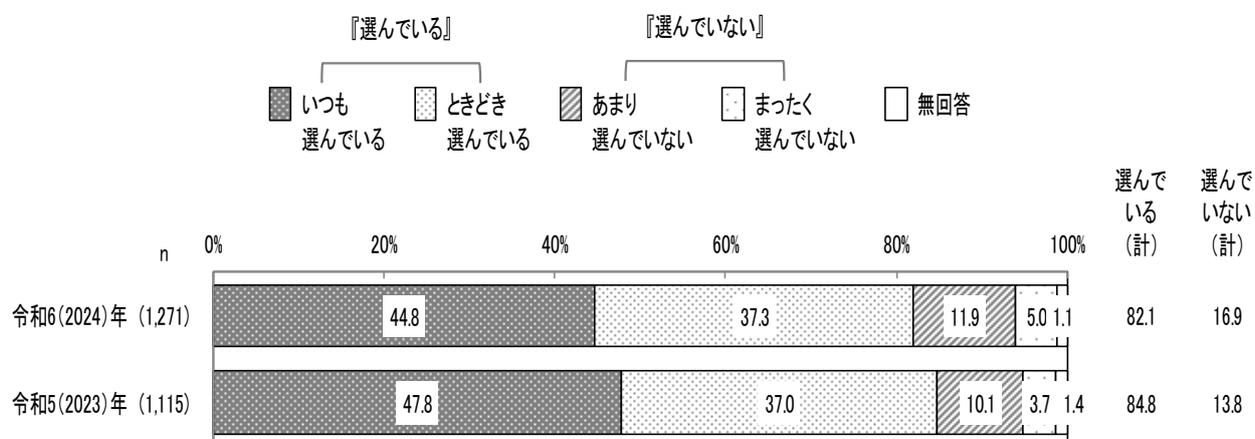


12 食に関する意識と実践について

(1) 産地や生産者を意識して食品等を選ぶか

問28 あなたは、お米や野菜、果物などの生鮮食品を購入する際、国産や県産など産地を意識して選んでいますか。次の中から1つ選んでください。 [n = 1, 271]

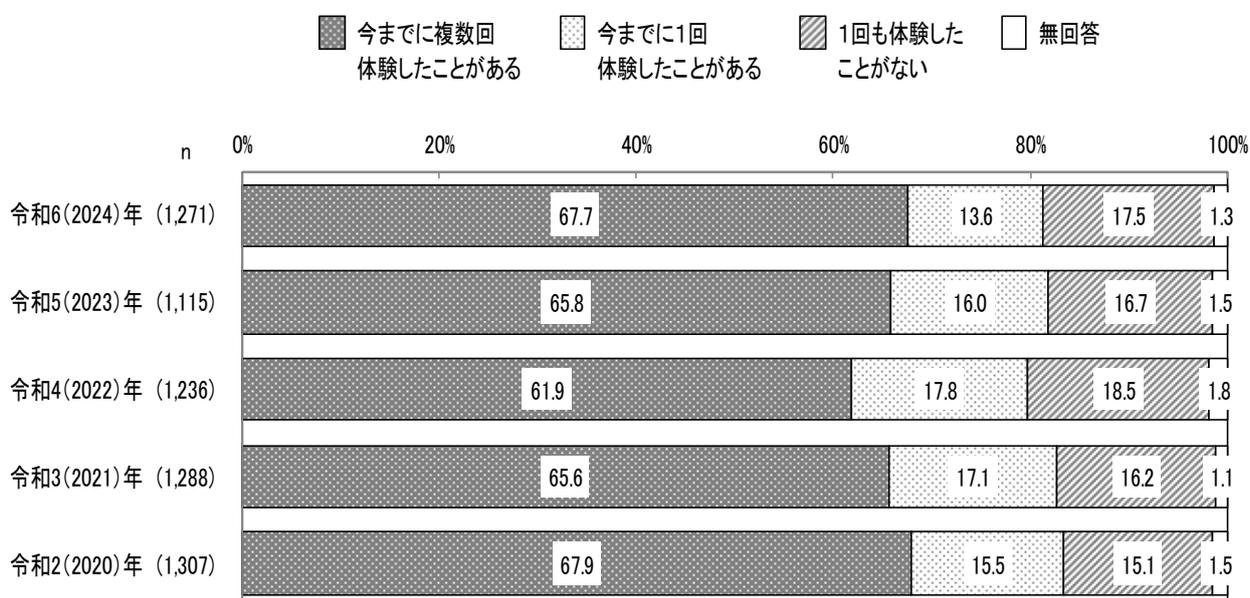
項目	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	R5との差
『選んでいる』	84.8%	82.1%	2.7 (減)
『選んでいない』	13.8%	16.9%	3.1 (増)



(2) 農業体験をした経験

問29 あなたは、田植えやいちご狩り、乳搾りなど、農業体験をしたことがありますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,271]

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
今までに複数回体験したことがある	65.8%	67.7%	1.9(増)
今までに1回体験したことがある	16.0%	13.6%	2.4(減)
1回も体験したことがない	16.7%	17.5%	0.8(増)

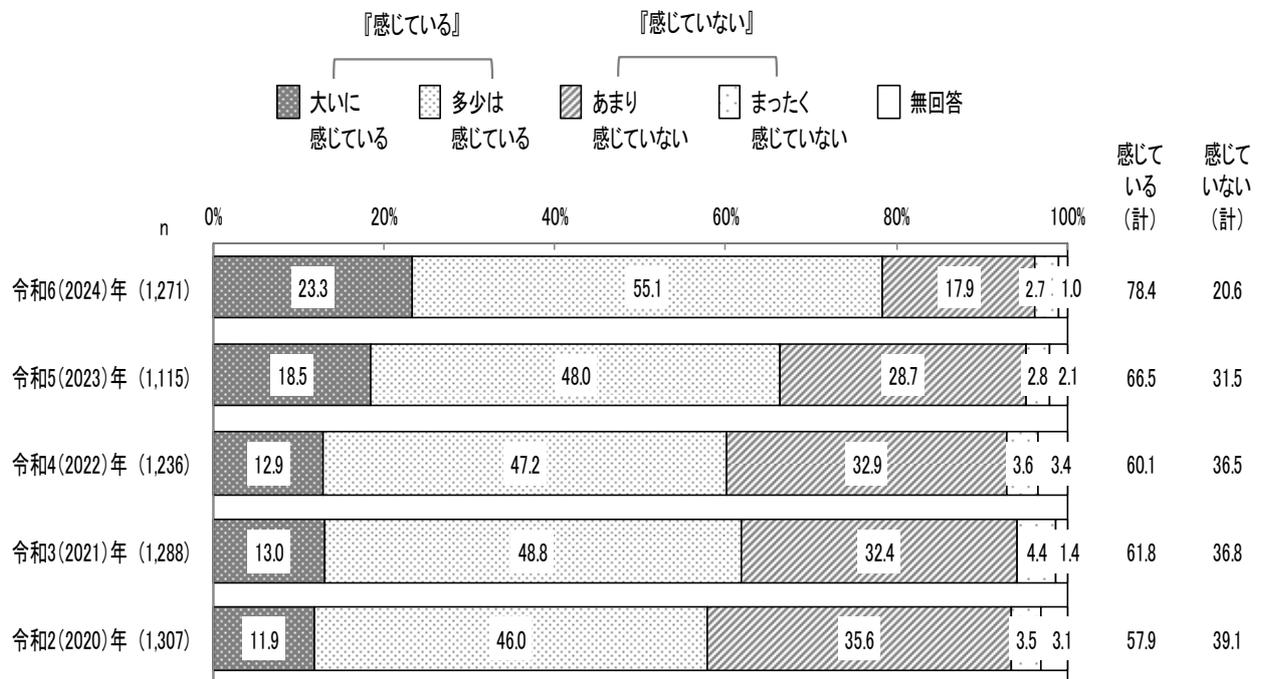


13 食の安全・安心について

(1) 食品の安全性に対する不安

問30 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,271]

項目	令和5（2023）年	令和6（2024）年	R5との差
『感じている』	66.5%	78.4%	11.9（増）
『感じていない』	31.5%	20.6%	10.9（減）

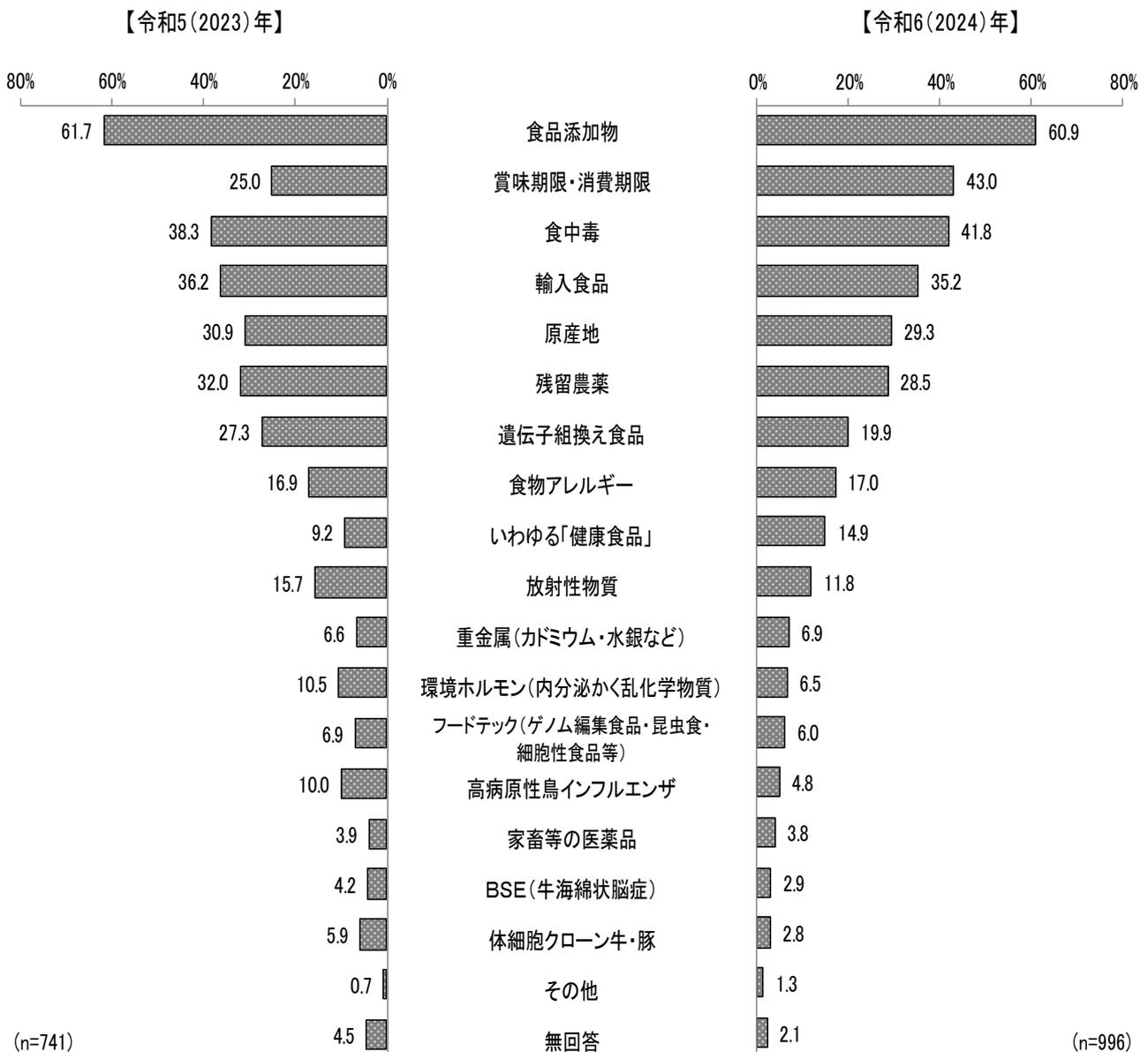


(2) 食品の安全性について不安に思うもの

(問30で選択肢「大いに感じている」、「多少は感じている」を選んだ方のみお答えください)

問31 あなたは、食品の安全性のどのような部分について不安を感じていますか。次の中から4つまで選んでください。 [n=996]

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
食品添加物	61.7%	60.9%	0.8(減)
賞味期限・消費期限	25.0%	43.0%	18.0(増)
食中毒	38.3%	41.8%	3.5(増)



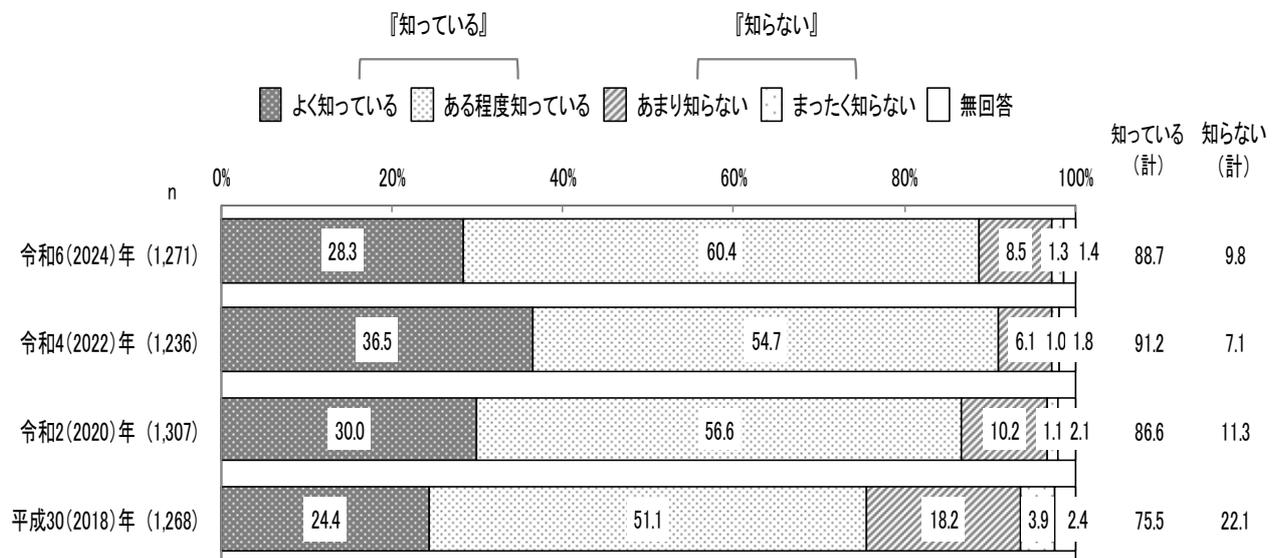
14 食品ロスの削減について

(1) 食品ロスの認知度

問32 あなたは、「食品ロス」の問題を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

[n = 1,271]

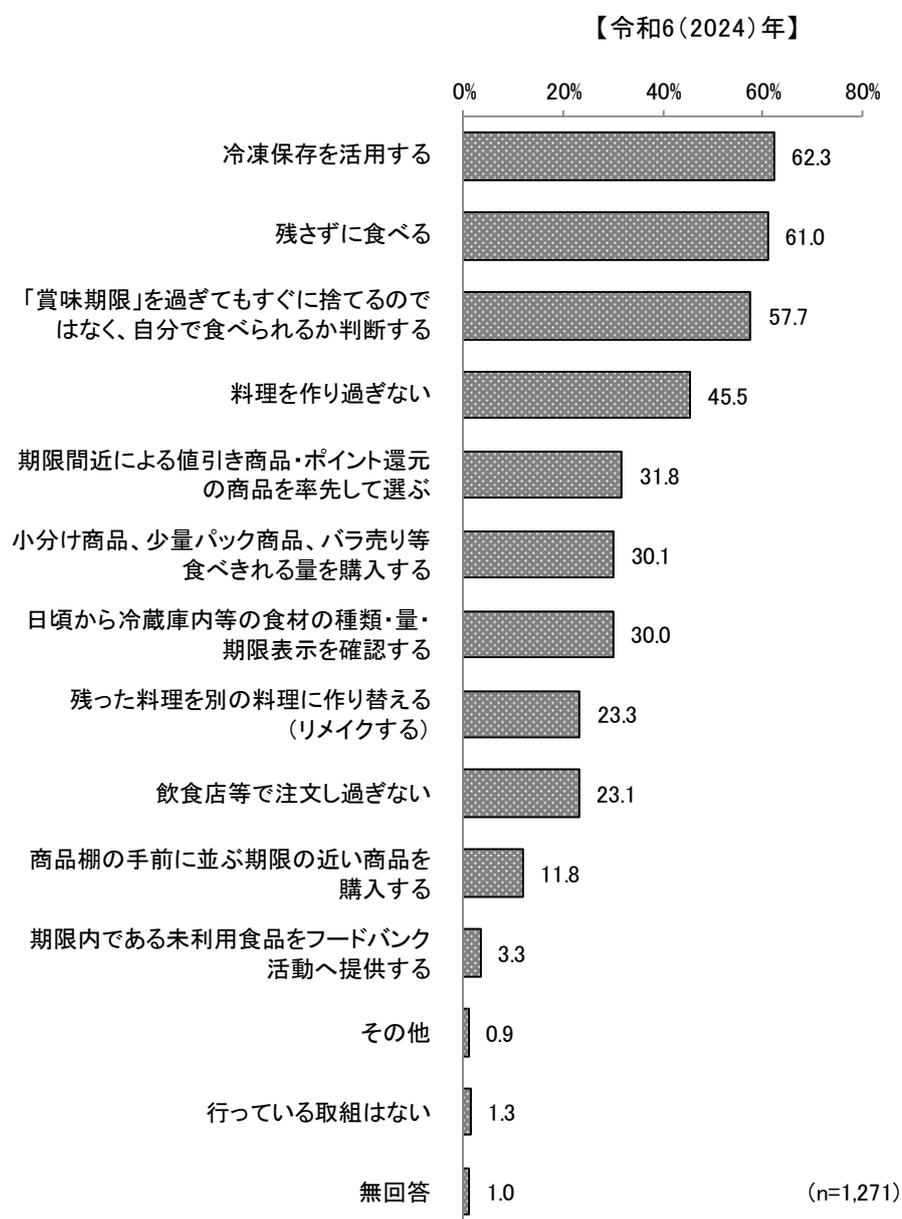
項目	令和6（2024）年
『知っている』	88.7%
『知らない』	9.8%



(2) 取り組んでいる食品ロスが発生させない取組

問33 あなたが現在行っている、食品ロスが発生させない（食品を無駄にしない）ための取組はどのようなものですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,271]

項目	令和6（2024）年
冷凍保存を活用する	62.3%
残さず食べる	61.0%
「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	57.7%
料理を作り過ぎない	45.5%
期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ	31.8%



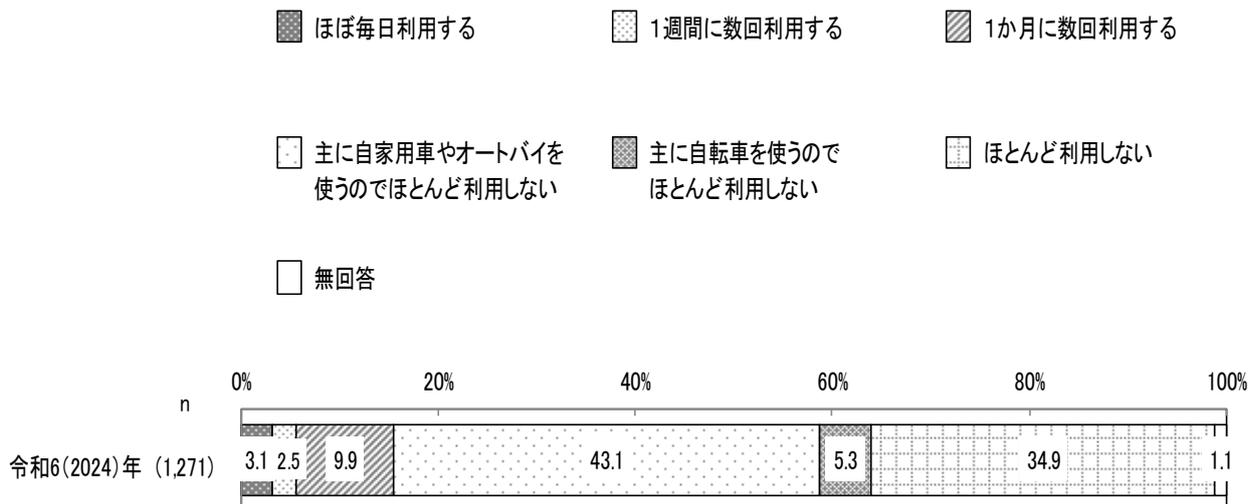
15 公共交通について

(1) 公共交通の利用状況

問34 あなたは、日常生活の中で鉄道・バス・タクシーなどの公共交通機関（※）をどれくらい利用していますか。次の中から1つ選んでください。 [n=1,271]

※ 公共交通機関とは、民間の交通事業者が運行するものだけでなく、市町が運行するコミュニティバスやデマンド交通なども含みます。

項目	令和6（2024）年
主に自家用車やオートバイを使うのでほとんど利用しない	43.1%
ほとんど利用しない	34.9%
1か月に数回利用する	9.9%

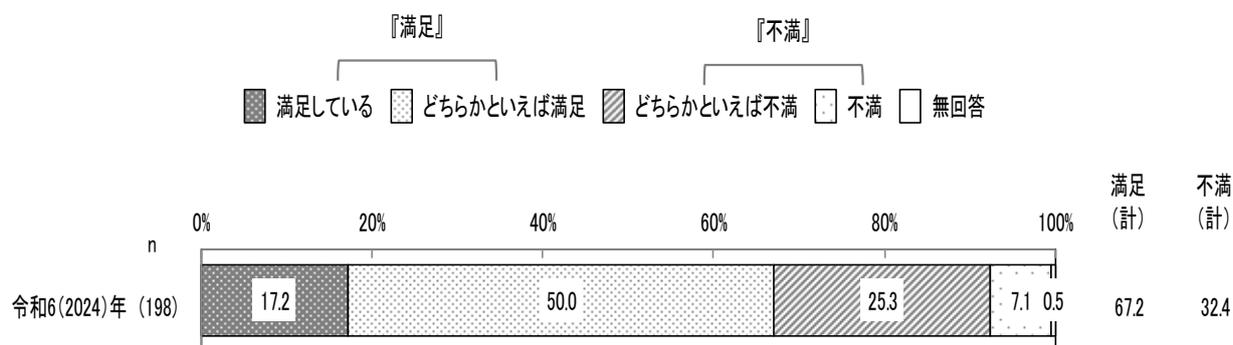


(2) 公共交通に関する満足度

(問34で選択肢「ほぼ毎日利用する」、「1週間に数回利用する」、「1か月に数回利用する」を選んだ方のみお答えください)

問35 あなたは、公共交通機関のサービスや運行状況について、満足していますか。次の中から1つ選んでください。 [n=198]

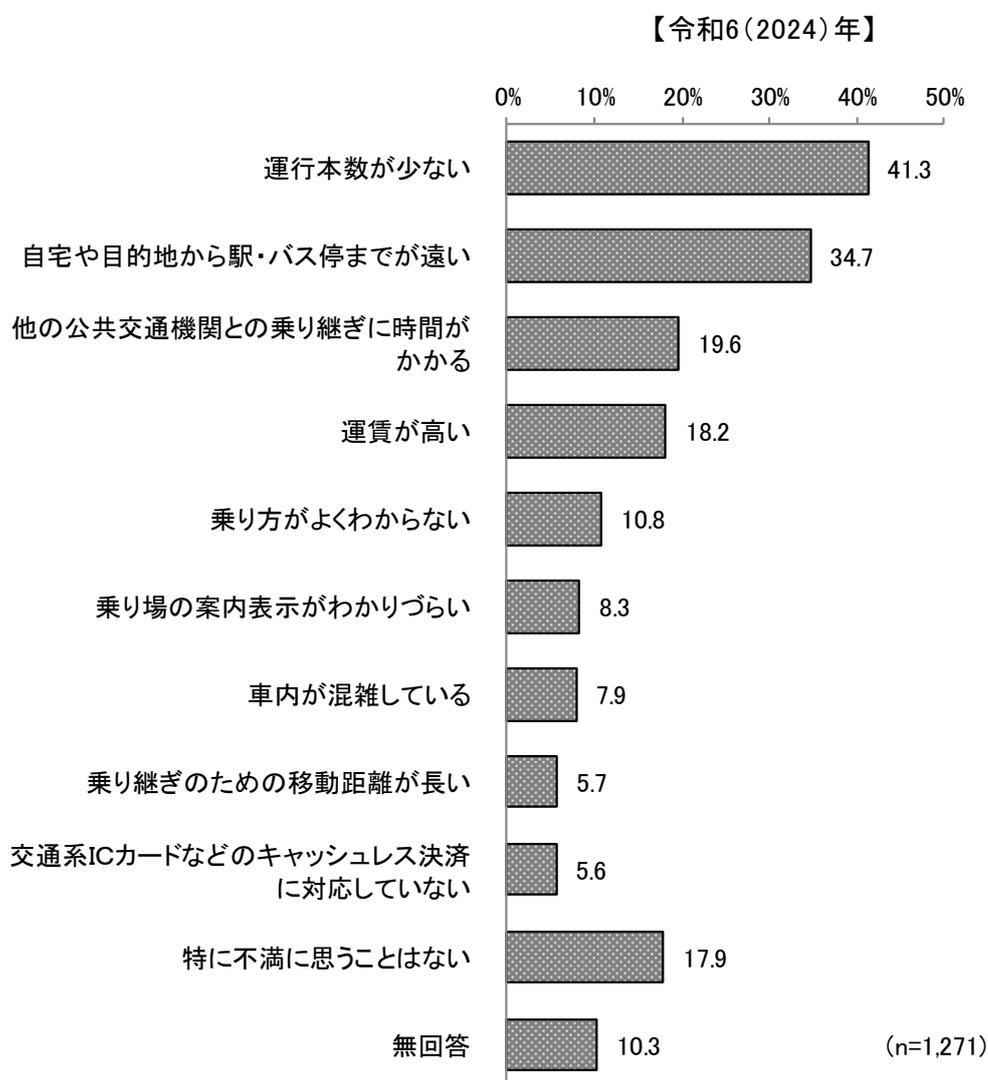
項目	令和6(2024)年
『満足』	67.2%
『不満』	32.4%



(3) 公共交通に不満を感じること

問36 あなたが公共交通機関に不満を感じることは何ですか。次の中から3つまで選んでください。 [n=1,271]

項目	令和6（2024）年
運行本数が少ない	41.3%
自宅や目的地から駅・バス停までが遠い	34.7%
他の公共交通機関との乗り継ぎに時間がかかる	19.6%

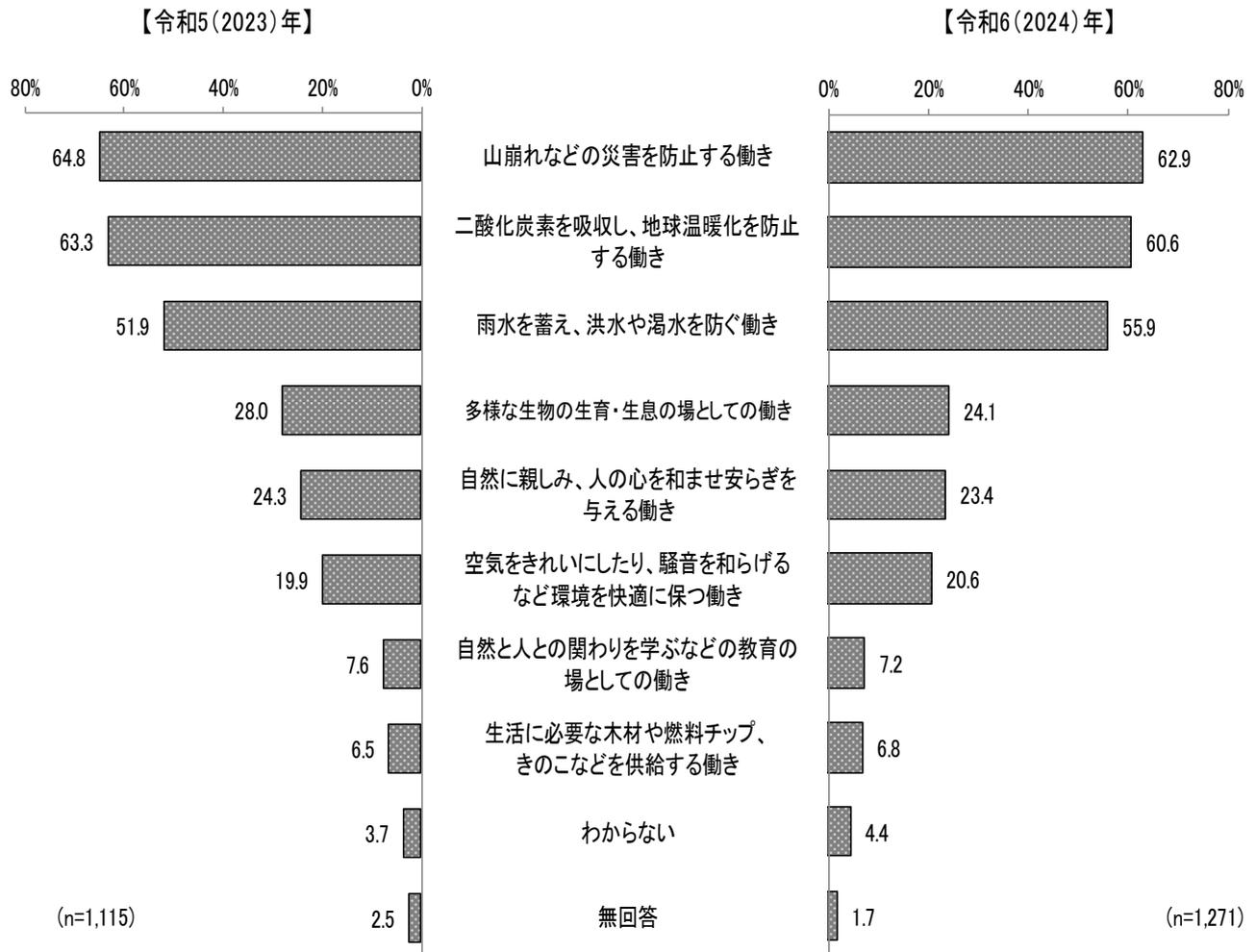


16 とちぎの元気な森づくり県民税について

(1) 重要だと思う森林の持つ働き

問37 森林には、様々な働きがあります。あなたが特に重要だと考える森林の働きはどれですか。次の中から3つまで選んでください。 [n = 1, 271]

項目	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	R5との差
山崩れなどの災害を防止する働き	64.8%	62.9%	1.9 (減)
二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き	63.3%	60.6%	2.7 (減)
雨水を蓄え、洪水や渇水を防ぐ働き	51.9%	55.9%	4.0 (増)

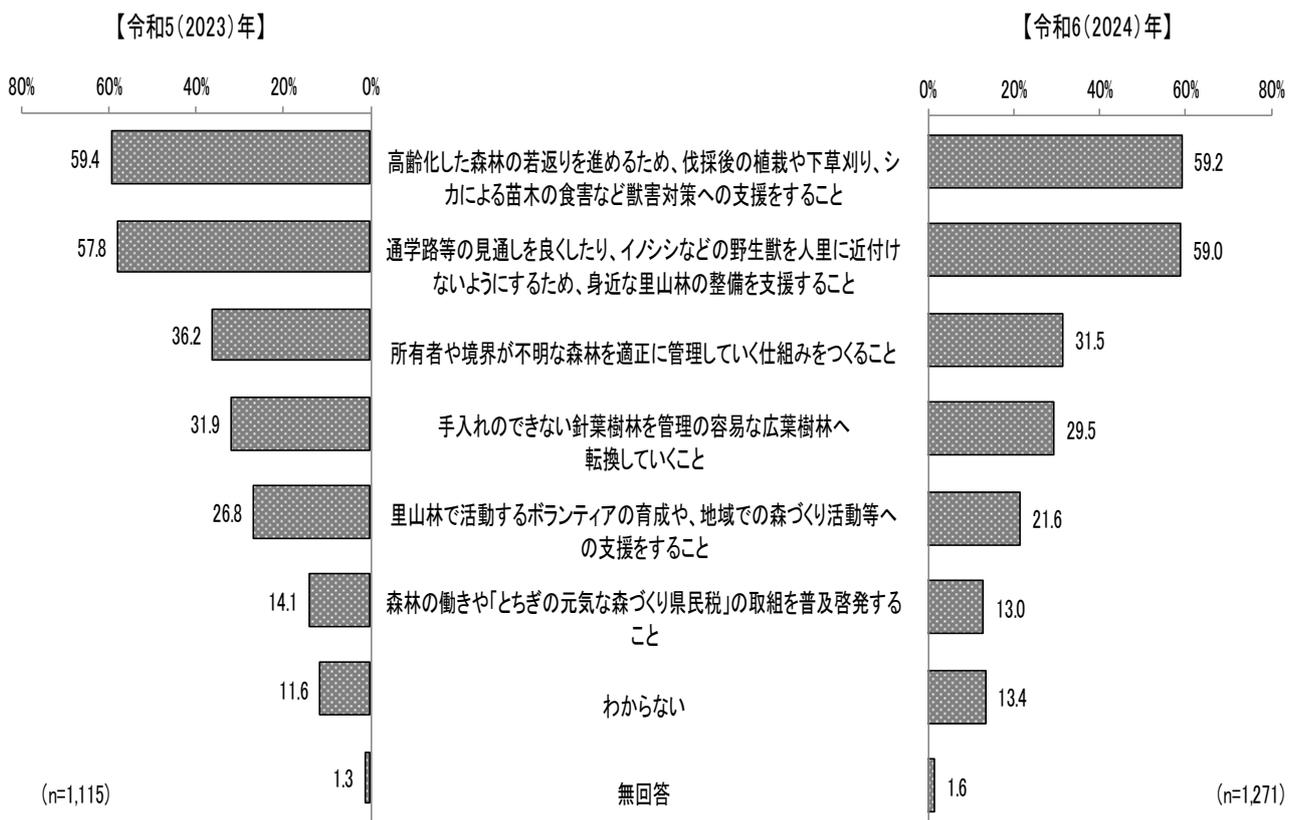


(2) 県民税事業の取組の重要性

問38 栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。

「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要と思うものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。 [n=1,271]

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
高齢化した森林の若返りを進めるため、伐採後の植栽や下草刈り、シカによる苗木の食害など獣害対策への支援をすること	59.4%	59.2%	0.2(減)
通学路等の見通しを良くしたり、イノシシなどの野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること	57.8%	59.0%	1.2(増)
所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること	36.2%	31.5%	4.7(減)



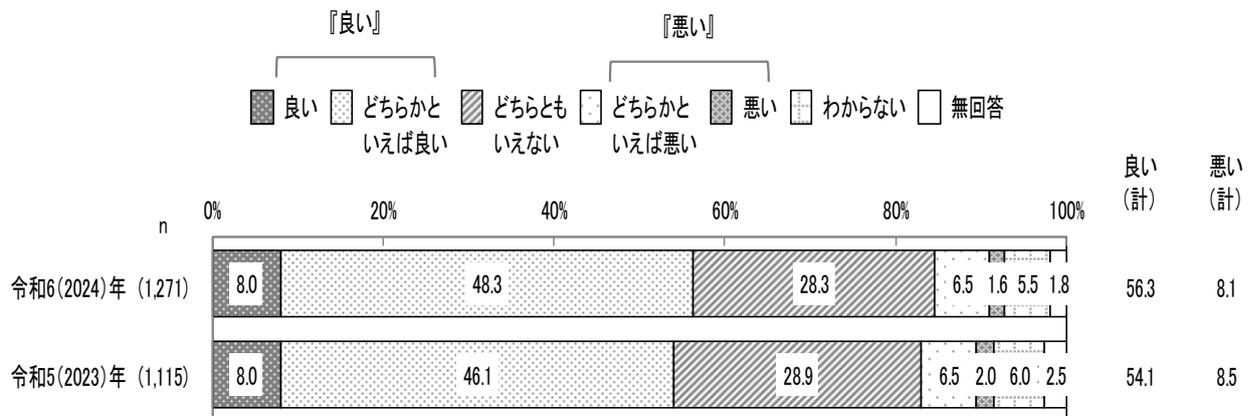
17 犯罪と治安対策について

(1) 県内の治安状況の変化

問39 あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。

[n = 1,271]

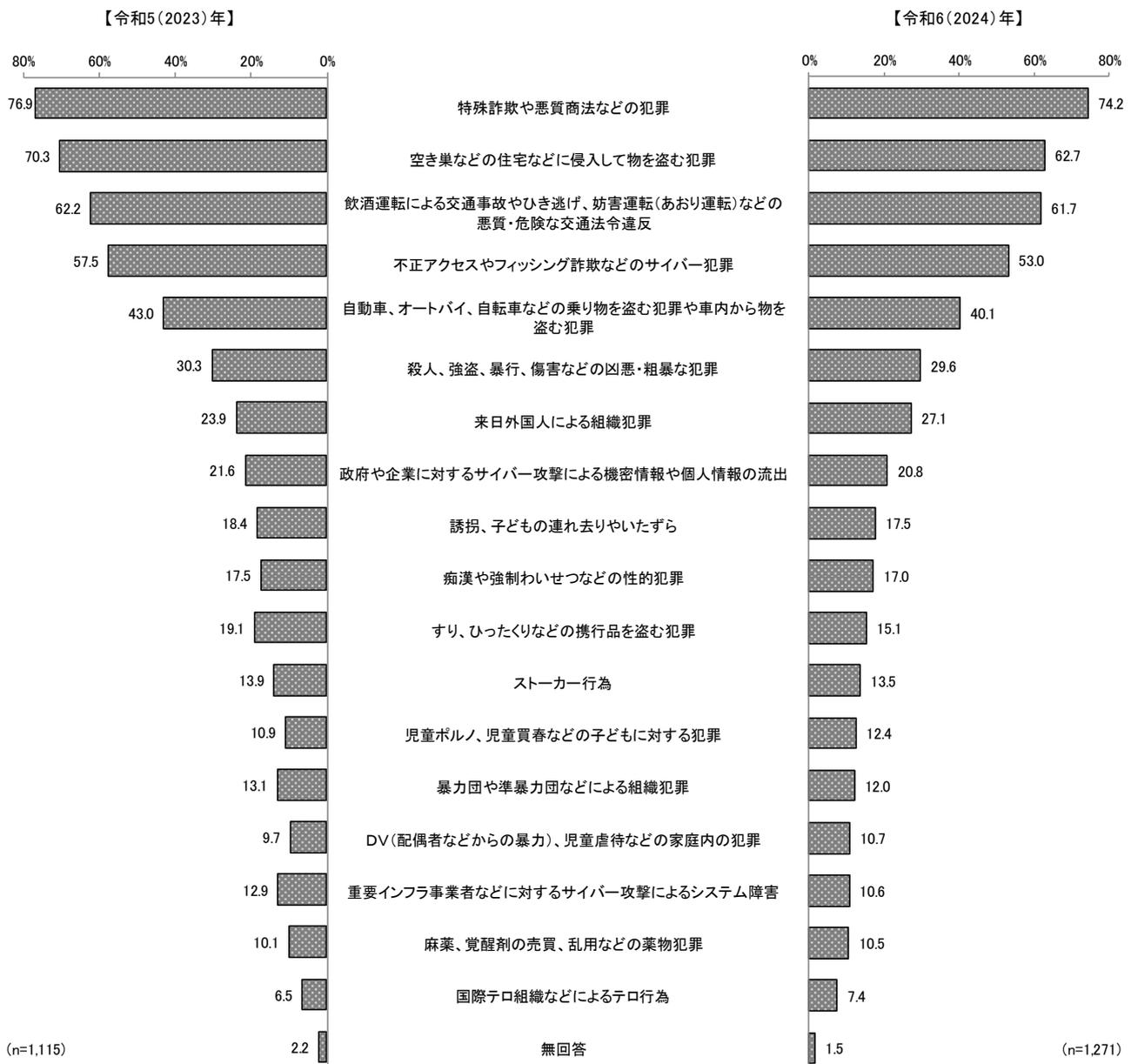
項目	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	R5との差
『良い』	54.1%	56.3%	2.2 (増)
『悪い』	8.5%	8.1%	0.4 (減)



(2) 不安に感じる犯罪

問40 社会が変化する中、あなたが、自分や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安になる犯罪などは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,271]

項目	令和5(2023)年	令和6(2024)年	R5との差
特殊詐欺や悪質商法などの犯罪	76.9%	74.2%	2.7(減)
空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪	70.3%	62.7%	7.6(減)
飲酒運転による交通事故やひき逃げ、妨害運転(あおり運転)などの悪質・危険な交通法令違反	62.2%	61.7%	0.5(減)



注) 令和5(2023)年では「その他」(0.5%)が選択肢に含まれていた。

(3) 交通事故抑止対策

問41 交通事故を抑止する上で、あなたはどのような対策が効果的だと思いますか。次の中からいくつかでも選んでください。 [n=1,271]

項目	令和5（2023）年	令和6（2024）年	R5との差
飲酒運転や無免許運転、妨害運転などの悪質・危険な違反の取締り	80.5%	77.7%	2.8（減）
運転免許証の自主返納の呼びかけと返納者に対する支援事業の強化	54.9%	50.6%	4.3（減）
自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り	49.0%	49.4%	0.4（増）

